

# りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

NO.  
250

2012  
OCTOBER

Brilliance  
輝くひと  
82

この町の「これから」を  
町の人とともに作っていききたい  
岩手県大船渡市職員 平野 桃子さん（12産社）

特集Ⅰ

新生・文学部

特集Ⅱ 震災関連特集

いま現地は、わたしたちは。

## 03 特集Ⅰ

## 新生・文学部



SPECIAL

## 06 特集Ⅱ 震災関連特集

## いま現地は、わたしたちは。



立命館大学校友会

2012年度東日本大震災復興支援事業計画

## 01 輝くひと

平野桃子 さん



## 10 RITSUMEI INTERVIEW

株式会社カワムラサイクル代表取締役社長 山崎 隆 さん

## 14 海の向こうの立命人

ユニ・チャーム インディア代表 木村幸夫 さん

## 15 「オール立命館校友大会2012in新潟」のご案内

## 20 校友会ネットワーク

立命館大学校友会「年会費」制度の廃止について

## 22 立命館のゼミナール訪問

文学部 河原ゼミ

情報理工学部 高田ゼミ

## 24 学生イベント&amp;スポーツ

## 26 キャンパストピックス

## 29 +Rな人

大橋理佐さん

## 30 INFORMATION

## 31 編集室から



岩手県大船渡市職員

| 輝くひと | ひらの ももこ  
平野 桃子 さん (12産社)この町の「これから」を  
町の人とともに作っていききたい

今年4月、岩手県大船渡市職員として社会人生活をスタートさせた。福岡県古賀市出身。血縁も地縁もない大船渡で働くことを決めたきっかけは、卒業前の夏に参加したボランティア活動だった。

ボランティアの活動先は大船渡市盛町の『灯ろう七夕まつり』。震災等の影響で人手不足に悩んでいた祭りの準備作業を手伝い、地域住民と交流を深めながら1週間を過ごした。「震災は現実で、しかも過去ではなく現在進行しているものだと実感できた」。その後京都に戻り就職活動をする中でも、いつも心のどこかで大船渡のことを考えるようになった。「自分は遠くで支える人でありたいか、一緒に現実を見ていく人でありたいかと思うようになった」。そんな時、大船渡市職員の採用試験が近く実施されることを知った。実施日は故郷古賀市の職員採用試験日と同日。悩んだ結果、「今しか出来ない選択をしたい。私は、大船渡の町の、人の、『これから』を見届けたい」と、大船渡市職員の受験を決意し、見事試験に合格した。

配属先は商業観光課観光物産係。地域の特産品を取り扱い、祭りやイベントに関わる業務を担当している。初めてのことばかりで先輩に聞きながら仕事を進める毎日だが、「今、とにかく楽しい」と笑顔。「周りのみんなが本当に明るくて。職場の上司や同僚、誰もがこの1年余り、辛く、大変な思いをしてきたのに、その上で今笑って、一緒にいい町を作っていこうと言ってくれる。ありがたいです」。しばらく身を置くことで気付いた大船渡の魅力——人、自然、文化。「でも地元の人にとっては当たり前すぎて、その良さはあまり気付かれていなかったりする。私は外から来た人間ならではの視点を生かして、その魅力を伝えられる仕事ができるようになりたい」。

「まだ大船渡に来たことがない方にもできればいつか来てもらいたい。そして頭の片隅でいいから、一緒にこの町の『これから』を考えてほしい。みなさん、大船渡で会いましょう」。

写真は、昨年の七夕まつり以来交流が続く、  
平野さんの「大船渡の父と母」鈴木さんご夫妻と

(写真・小幡豊 文・平松万知)





2012年度、立命館大学文学部に、  
「学域」という新たな教学区分が開設されました。  
新しい学びの場が、21世紀型の人文学を考える場となり、  
新しい「知」のあり方を発信していく場となることを目指しています。

# 新生・文学部

特集 I

**昨**年発生した東日本大震災及びその後の原発災害は、人間自体のあり方を根底から問いかけるものとなりました。人間が自然の脅威とともに生命を育む存在であることがあらためて明らかとなり、文明・文化のあり方も問い直されています。21世紀に入ってから、グローバル化とIT革命は飛躍的に進展し、それが明るい未来を約束しているかのように見えた矢先に、この大震災は、私たちにもう一度原点に立ち返って考えることを求めています。

文学部は、人間について、根底から考える学部です。人間とは何か、いかに生きていくべきかについて、はるか人類の発生に遡って見つけ、全世界の文明・文化を反省的に捉え返し、人間が残してきた言語的作品をじっくりと吟味しながら考えていく学部です。その意味では、人間自体のあり方が根底から問い直されている現代世界にあって、文学部の役割はますます重要になっています。

2012年に85周年を迎えた文学部は、「学域」という教学区分を設け、戦後最大となる改革を実施しました。それまでの14専攻・プログラムから、8学域18専攻に改編し、現代社会のニーズに応える四つの「専攻」を新設しました。複数の「専攻」から成る「学域」は、高校からの学びを

大学につなぐ基礎力やリテラシーを身につけ、さまざまな人文学を融合して学ぶことができる未来型人文学を創造する〈場〉として設けられたものです。「学域」での切磋琢磨を通じて2回生以降に選択する「専攻」では、伝統的人文学の<sup>うんめい</sup>蘊奥を、時間をかけてじっくり学んでいくことになります。

国際化に関しましても、昨年文学部は文部科学省から「キャンパスアジア拠点校」に選定され、これにより、2～3回生次の2年間にわたり日中韓3大学を1学期ずつ移動して学ぶ画期的な仕組みを作り上げました。また、カナダ・アルバータ大学との間でDUDP制度（二つの大学の学位取得を可能とする制度）を開始しました。

文学部は、伝統と革新の街京都にふさわしい存在でありたいと願っています。皆様方のご支援・ご支持をお願いいたします。



文学部長

桂島宣弘

(日本史研究学域教授)

# 新生・文学部

## 学域・専攻制度の導入―「実践型」「発信型」の学問へ

目まぐるしい速さで世界が変化し続ける昨今、文学部では「国際性」、「学際性」を高めることが大きな課題となってきました。人文学を取り巻く環境の変化とともに、文学部は20年近くの年月をかけて、「実践型」そして「発信型」の学問への転換を図ってきたのです。1996年、人文総合科学インスティテュートを設置し、その後改革を重ね、2006年度には、強固な学科の壁を取り払い、哲学・文学・史学・地理学そして心理学科を統合した人文学科1学科制への移行を果たしました。それらをさらに高次のレベルに発展させるために行なわれた改革が、今年実施されたカリキュラム再編「学域・専攻制度の導入」です。

## 充実した初年次教育が、専門の特化をよりクリアに、よりスムーズに

「学域」とは複数の「専攻」を束ねる新しい初年次教育の枠組みのこと。新しい領域を加えて改編した18の「専攻」を、8の「学域」が束ねます（「表1」参照）。入試の募集人数も学域単位で設定され、ここでの初年次教育を通じて2回生以降に所属する専攻を決定します。

学域はまた、「専攻」での準備を丁寧に行う場でもあります。情報にあふれた昨今、大学生の生活は、以前より困難さが増していると言えます。大学は、幅広い観点から手厚く学生の学びをサポートすることが求められるようになりました。文学部は近年、専攻での研究に対応する専門スキルを磨く『研究入門』と、文章作成・情報処理・キャリアビジョン形成といったスキルを磨く『リテラシー入門』の二つの科目を設け、初年次教育の充実化に向けて取り組んできました。そして今年度よりスタートした学域・専攻制度の下、この初年次教育をさらに充実・発展。『リテラシー入門』を通年科目にし、保健センターによる

健康指導を授業に採り入れるなど「自己管理」「友人関係」「学習習慣」といった観点を加え、学生生活をいいきと送るための「ステューデントスキル」も磨きます（「表2」参照）。これら二つの科目は少人数制授業によるきめ細やかな指導で進められます。

そのほかにも、学生は初年次において、文学部の119名の全教授陣に出会える『入門講座』を受講したり、専攻についての希望調査や個別面談などを重ねたりすることによって、自身の適性を見極め、はっきりと意思を持って専門の学びを特化することができるのです。

## 社会のニーズを敏感に捉えた、ほかにはない学びが可能

今年度の改革で新しく誕生した専攻は、司書課程を選択できる「日本文化情報学専攻」、文化遺産を専門とする「考古学・文化遺産専攻」、将来性の大きな東アジアを焦点にした「現代東アジア言語・文化専攻」、人文学の観点から観光を解き明かす「地域観光学専攻」の四つ。そのほかにも「京都学専攻」や「国際コミュニケーション専攻」など、立命館大学文学部ならではの社会のニーズを捉えた学びが顔を揃えます。

また、文学部は、昨秋に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業（キャンパスアジア）」の拠点校として、国内の私立大学で唯一選定されました。中国・韓国との交流を筆頭に、国際化が急速に進んでおり、学域・専攻制度という新たな改編によって、さらに国際教育のレベルが上がるのが予想されます。

国際化も視野に入れた新しい学びを目指すなかで、文学部は世界に広がる校友のネットワークにも注目しています。また、初年次だけでなく2、3回生においてもキャリア教育に力を入れ、実社会で活躍するOBから学ぶ講義も開いています。ほかにはない学びを追い求めて、文学部は時代とともに変化し続けています。

表1

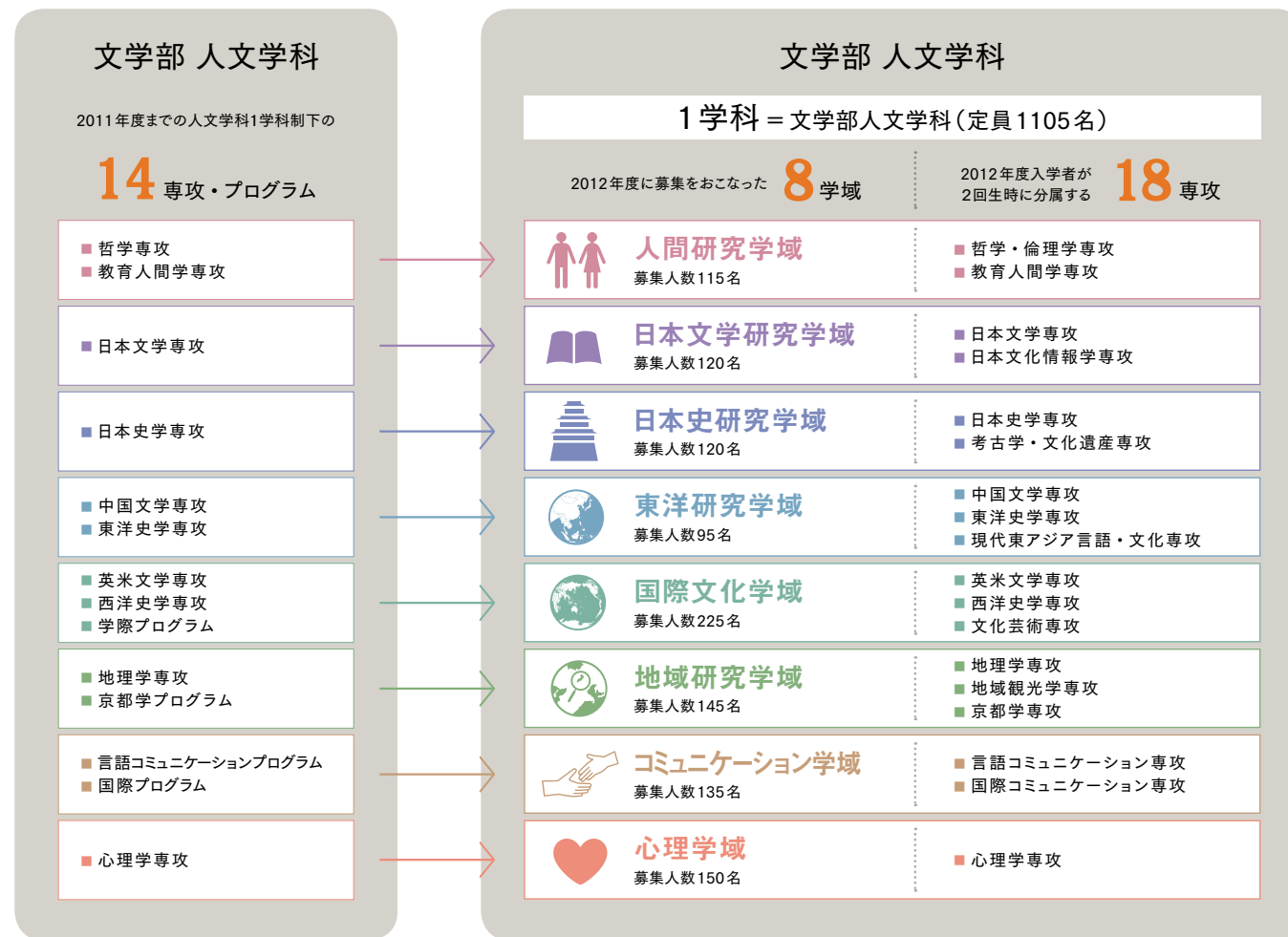


表2

## 初年次教育

5つのスキルを磨いて  
専門の学びへ

### STUDENT SKILL スチューデントスキル

生き生きとした学生生活を送るためのスキル。

### WRITING SKILL ライティングスキル

大学で必要とされる論理的な文章を作成するためのスキル。

### INFORMATION SKILL インフォメーションスキル

さまざまなデータや情報を処理するためのスキル。

### CAREER SKILL キャリアスキル

在学中から将来のビジョンを描くためのスキル。



### ACADEMIC SKILL アカデミックスキル

例えば文学と歴史学を比較しながら学び、2回生からはじまる専攻での専門研究に対応するためのスキル。



専攻での学びへ



# いま現地は、わたしたちは。

校友会報『りつめい』が、東日本大震災で被災した現地取材したのは1年前。当時取材に応じてくださった校友の皆様は今、どうされているのでしょうか。2011年秋号の震災関連特集でご協力いただいた方々に、現在の暮らしやまちの様子についてお聞きしました。

## 岩手県

### 大船渡市在住 金野良一 さん（'81文）

大船渡では、ガレキの撤去が進み、避難所生活を送っていた方もほぼ仮設住宅へ移住されました。文化的な関心を取り戻そうという活気も出てきて、休みの日には市の文化会館は満員です。館長を務める市立博物館の活動も活発化しています。身の周りで言えば、大規模半壊した自宅をようやく修理することができました。暮らしの中では今も震災は続いています。日常を取り戻すためにみんな努力しています。振り返るといろんなことをしてきました。突っ走ってきたような、ゆっくり歩いてきたような1年でした。

震災をきっかけに、何十年来連絡を取っていなかった旧い友人が、まるで昨日会っていたかのように連絡をくれました。今年4月には、市と立命館大学が災害復興への連携協定を結ぶなど、大学とのつながりをこれほど強く感じた年はありません。今、良い方向に向かっているのは確かです。それは形あるもの、ないもの含め、皆様のご支援があったからです。たくさんの方が大船渡に目を向けてくれて、とてもありがたくなっています。これからもずっと、見ていてほしい。皆様の気持ち私たちの支えになっています。



## 宮城県

### 石巻市在住 木村長努 さん（'77経済）

この度の震災におきましては、全国の校友の皆様にご多大のご支援をいただき誠にありがとうございます。これまで起きたことがまるで映画のワンシーンのようで、「誰か『カット!』と、撮影終了と言ってくれないか」と、他愛もない夢をよく見ます。そんななか、当社・株式会社木の屋石巻水産では、校友の方も含むボランティアの皆さまのお手伝いで、津波で泥に埋もれた缶詰を掘り出し、昨年11月に出荷作業を終えました。今は他工場生産してもらった鯨の大和煮缶詰と、タレントの松尾貴史さん監修の鯨カレーを販売し、復興の足掛かりとして頑張っております。グループ補助金が認可され、本社のあった魚町には冷凍工場と冷蔵庫を、内陸の美里町には缶詰工場を建築することになり、7月5日に地鎮祭を執り行なう事ができました。来年2月の完成を目指して工事に入っています。6月には、津波で工場から300m先まで流されていた巨大タンクも撤去しました。水産団地内では次々に工場の建築が始まっています。全体としては2〜3割の稼働状況ですが、年内には5〜6割まで復旧できると思います。この間のブランクを取り戻すのは簡単ではないと思いますが、全国の皆さまが応援してくださっているものと信じ、一歩ずつ復興に向け努力していきます。



### 陸前高田市在住 鈴木正彦 さん（'71経済）

大津波以降、2回目の夏が来しました。今、勤務する高田小学校からは、津波で流されなかった鉄筋コンクリートの建物の残骸と緑鮮やかな雑草が見えます。そして、最近ようやくガレキの山々が重機で崩され、今まで見えなかったはるか遠くの景色まで見えるようになってきました。8月7日の七夕には、昨年に引き続き「こんな時こそ祭りが大切だ。鎮魂の意味も込めて、祭りを絶やすな」と七夕の山車を皆で引き回し、海、そして多くの死者が出た建物に向かって黙祷を捧げました。今年は昨年の2倍くらいの山車が出て、祭りは思った以上に盛り上がりました。国や県の方針と噛み合わない面があるようで、市の復興計画はかなり遅いように感じます。しかし、たくさんの店舗が復活し、あちこちで住宅が建てられており、この調子だと5、6年後にはある程度町らしい様子が見られるのではと期待しています。「千年に一度の大地震」と言われていますが、あと1,000年経っても、人類が自然を自由に操作することは不可能だろうと思います。自然環境と仲良くする方法を追い求めていくことが、人類が生き延びる唯一の方法ではないでしょうか。



### 会津若松市在住 大島寅次郎 さん（'70経済）

家業である会津の伝統産業の一つ・漆器の卸販売をしています。昨年の震災、そして原発事故はかなりショックでした。会津は直接的な被害はさほどないとは言え、一時は「農・林・水産業が福島からなくなる」、「会津に来る観光客がゼロになる」といった話になっていました。状況は少しずつ改善されてきています。しかし、原発周辺地域の住民の方は、いまだ自分たちのまちに帰ることができず、また、将来がまったくつかめない状態は1年前と何も変わっていません。風評被害によって物品の販売が大きく落ち込んでいることも事実です。人の動きは少しずつ回復していますが、それも「復興支援」という冠が付いた状態での話であり、中身は推して知るべしでしょう。一番問題なのは、それぞれの被災地の方々がみな、明日、来年、10年後と、時間軸での想像が何もできないことです。想像すら出来ないようでは、何かしてみようという動きはなかなか見つけにくい。それが被災地の現状です。

### 福島市在住 鈴木重典 さんご一家（'88法）

子供たちがマスクをしなくなった。洗濯物を外で干せるようになった。震災から1年半、これが見える形での大きな変化です。環境放射線量は相変わらず高いのに、住民の感覚が麻痺し、普段の生活に戻っています。普段通りとは言え、すべての学校の校庭や公園に、環境放射線を計測するモニタリングポストが設置されている現状は異様です。二人の息子は甲状腺検査を受け、再検査の必要はないとの結果ですが、低線量被曝の影響は医者にも分からないため、信用できません。福島の人々はみな、それぞれの考えで行動しています。何が正解か分からない状態は今も同じです。原発の地元・浜通りでは多くの住民が避難生活を送り、7万件近くの財物賠償の見通しが立っていません。各地の放射線量の高い地区はそのままです。復興よりもまず原発問題を片付けてほしい。今望むのは、長期の休みに子どもを受け入れてくれる施設。低線量被曝には保養が必要です。妻や二人の子どもたちを、できれば子どもたちの友人家族と一緒に、低料金で受け入れてくれる場があれば。今後のことを考えた時、全国の施設を紹介してもらえたらと思います。



### 名取市在住 佐々木圭亮 さん（'77産社）・靖子 さん（'76文）

閑上（ゆりあげ）の地はあの日から時が止まっているかのよう。雑草だらけの荒涼とした土地が空しく広がっています。昨年の校友会報での掲載を機に、「立命館」を核として縦・横・斜めの糸で繋がった全国の方々から励ましをいただき、温かいご縁の輪が大きくなっていきました。「蒲鉾を造れること」の喜びを感じつつ、製品造りに打ち込む中、今年5月に天皇后両陛下が宮城に御行幸啓の折、私共・株式会社ささ圭の「手わざ笹かまぼこ 希望」をお買い上げいただくという有難い僥倖にも恵まれました。そしてこの度9月に、悲願の新工場が竣工します。コンパクトながら震災前の二つの工場の機能を併せ持ち、約8割の生産能力が見込まれた力強い施設になりそうです。一時は廃業まで考えましたが、あきらめなくて良かったと、今つくづく思います。この竣工を「第二の創業」として、どんな時にも決して希望を捨てず、社員と心を一つにして「復興」への道を邁進してまいります。大津波直後より、私共の安否を心配し、以来ずっと温かいご支援とご声援を寄せてくださった立命館大学、校友会、そして全国の校友の皆様へ、心からお礼を申し上げます。いつの日か、皆様のご恩にお返しできるようにと願いながら…。

### 会津坂下町在住 桑原勇健 さん（'69理工）

福島原発の事故では、過去に世界で起きた原発事故や大津波の教訓が生かされませんでした。政府の事故調査報告では人災と報告されています。誰が責任を取るのか、世界中が固唾をのんで日本の行方を見ているでしょう。福島では現在約6万人が県外に避難し、仮設住宅などでの不自由な生活を余儀なくされています。各地の汚染状況が知られると、「福島は危ない」とレッテルが貼られました。全国の方は会津が風評被害で苦しんでいる事などご存じないかもしれませんが、会津の基幹産業である観光も、一時は前年比80%減と最悪の状態に陥りました。激減した観光客を呼び戻そうと、会津では総力を挙げて世界に向けて安全を訴え、市の観光課職員は中学や高校を一校ずつ回ったそうです。少しずつですが今春から修学旅行客が戻り、温泉地も賑わってきました。昨年は各地で祭りも取りやめになり、寂しい思いをしましたが、今年は昨年の分まで盛大に行なわれています。地域全体が一つになり、絆が芽生えました。英知を集め、一丸となって復興に努め、未来の会津人に「昔の会津人は偉かった」と言われるような働きをしたい。全国の立命館校友の皆様、会津は良いところですよ。一度訪ねてみてください。

## 福島県

## 立命館大学校友会 2012年度東日本大震災復興支援事業計画

### 事業A 被災地の校友（校友会）と全国の校友（校友会）とを繋ぐ「場」と「機会」の創出

#### ①webサイト上での情報の発信と交換の場の創出と展開

復興支援に関する情報を発信し交換することを目的とした「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」（パソコン版、携帯電話版）を開設しています。

#### ②「オール立命館校友大会2012in新潟」への被災された校友の招待

2012年10月6日（土）に開催する「オール立命館校友大会2012in新潟」に、東日本大震災の被害が特に甚大であった岩手県、宮城県、福島県に在住校友の皆様をご招待します（総会・懇親パーティーへのご招待、交通費・宿泊費の補助として岩手県からの参加者：40,000円、宮城県からの参加者：35,000円、福島県からの参加者30,000円を支給）。

#### ③被災地校友（校友会）の招聘に伴う補助

都道府県・グループ校友会が復興支援の取組みの一環として、被災地の校友を当該団体の主催する企画に招聘する場合、当該団体からの申請に基づき、当該団体に対して、招聘に伴う交通費・宿泊費の一部を補助します。

| 招聘地のエリア | 招聘者1名あたりの補助金額（円） |
|---------|------------------|
| 北海道     | 30,000           |
| 東 北     | 10,000           |
| 関東・甲信越  | 10,000           |
| 北 陸     | 30,000           |
| 東 海     | 30,000           |
| 近 畿     | 30,000           |
| 中 国     | 50,000           |
| 四 国     | 50,000           |
| 九 州     | 50,000           |
| 海 外     | 50,000           |

## 義 援 金 募 集

被災された校友の方々に少しでもお役にいただくために、引き続き、全国の校友の皆様を対象に、義援金を募集しております。ひとりでも多くの皆様の温かなご支援・ご協力をお待ちしております。

#### ■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

##### <個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

|           |             |
|-----------|-------------|
| 法学部＝ホウ    | 経済学部＝ケイザイ   |
| 経営学部＝ケイエイ | 産業社会学部＝サン   |
| 国際関係学部＝コク | 文学部＝ブン      |
| 政策科学部＝セイ  | 映像＝エイソウ     |
| 理工学部＝リコウ  | 情報理工学部＝ジョウリ |

##### <団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

#### ■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この義援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行ないません。予めご了承ください。  
 ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル0120-252-094）までご連絡ください。

#### 事業B 被災地の校友会による独自の取組みに対する支援

##### ①被災地校友会による独自の取組みに対する支援

被災地の校友会が独自に復興に向けた取組みを行なう場合、当該校友会からの申請に基づき、経費を支援します。

##### ②被災三県への見舞金

被災三県校友会へ校友会活動活性のためのお見舞金として一律20万円をお渡ししました。

#### 事業C 義援金の募集の継続と推進、配分

被災された校友の方々に対するお見舞い金とすることを目的とした、義援金募集の継続と推進に取り組みます。また、受付状況の推移に伴い、適宜、配分を決定します。ご協力いただいた個人、団体・グループの芳名を会報「りつめい」に掲載（個人については、氏名、卒業年、学部・研究科名を公表）させていただきます。ただし、「立命館大学校友会東日本大震災復興支援情報サイト」上では、団体・グループ名のみとし、個人については人数のみを公表します。

#### 事業D 東北応援ツアーの実施

全国の校友を参加対象とした「立命館大学校友会 東北応援ツアー」を実施します。（参加対象は立命館大学の校友のみ）

## 立命館大学校友会東日本大震災義援金について

2012年5月1日～7月31日に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

##### ● 会合参加者

|                               |
|-------------------------------|
| 2012 年度 幹事会出席者（31 名）          |
| 2012 年度 東海エリア新校友歓迎会参加者（126 名） |
| 2012 年度 関東エリア新校友歓迎会参加者（153 名） |

##### ● 団体・グループ（50音順）

|            |
|------------|
| しろ会        |
| 立命館大学ウリ同窓会 |

合計 10,353,068円 2012年7月31日現在

（ 個人 2,821名 5,862,344円 ）  
 （ 団体・グループ 165件 4,490,724円 ）



## 高齢者、障がいのある方の 移動サポーター No.1に

株式会社カワムラサイクル代表取締役社長

**山崎 隆** さん（'78経済）

### 新事業へ転身し、 業界トップの一角に

車いすを主軸に福祉用具を製造・販売する株式会社カワムラサイクル。社名を聞いて、「おや？」と思われた方もいらっしゃるかもしれない。その名に冠する通り、カワムラサイクルは、かつて高度な自転車製造技術で知られた元自転車メーカー。経営難から、持ち前の技術とアイデアを生かして新事業への転身を見事に成功させた。現在は業界大手としての位置を確立し、市場をリードし続けている。

**山崎** カワムラサイクルの前身は、「NISHIKI」ブランドとして広く海外でも人気を博していましたが、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けたこともきっかけとなって、経営難に陥りました。その後、旧カワムラサイクルの商標権と営業権を買い取り、1995年、車いすなど福祉用具メーカーの新生カワムラサイクルが創業いたしました。

創業当時、世間ではスチール製の車いすがほとんどだったのですが、当社は元自転車メーカーの技術を生かして、軽量のアルミで車いすを製造し始めました。また、他メーカーに先がけて、いち早く中国での生産に取り掛かりました。2000年にスタートした介護保険制度によって、車いすは給付からレンタルに変わり、レンタル事業者をバックアップするための車いす洗浄・消毒を行なう「レンタルサポートシステム」を実施し、シェアを拡大。車いす利用者の増大とともに当社も大きな成長を果たすことができました。

このような変遷の中で、創業以来ずっと続けているのは、「安全」「安心」を最優先するという姿勢。中国の生産会社で製造した車いすは、日本国内での出荷前に一台ずつ検査・調整したうえで市場に投入しています。抜き打ち検査で数台をチェックするのが主流の現在にあって、このような手間と時間のかかる方法は、コスト面から言えば賢いやり方ではありません。けれど、車いすは高齢者や障がいを持つ方に使っていただく商品。利用される方が、安心して、気持ちよくお使いいただけることを第一にと考えるからこそ、この方法を守り続けています。おかげさまで、個人ユーザーだけでなく、車いす選びに見る目が厳しい病院や高齢者施設からもカワムラサイクルの車いすは信頼をいただき、高いシェアを確保しています。

### 「お客様目線」のものづくり

2010年、カワムラサイクルはオフィス機器・インダストリアル機器等のメーカーであるマックス株式会社と業務提携契約を締結。新しいカワムラサイクルの代表に、マックスで介護機器営業部部長をしていた山崎さんが就任した。得意分野を異にしながらも、両社に通じるものがある。常に「現場＝お客様」の立場になった目でものを見るという姿勢だ。

**山崎** マックスで、介護機器営業部の部長になった当初は、福祉用具の知識など何もない状態。まずは福祉用具の販



売に必要な「福祉用具専門相談員」の資格を取らなければと、1カ月間講習に通いました。その中で、車いすに乗ったまま授業を受けるという体験学習があったのです。「車いすって楽なんだろうなあ」と思っていたのですが、いざ乗ってみると窮屈で、痛い。見ているのと実際に使うのでは大違いで、いつも使っている方がどんなに大変なのかが分かりました。その後、マックスとカワムラサイクルが業務提携し、親子関係が早まって、思いがけず車いすを専門とする会社の代表となったのですが（笑）、講習で実際に経験したことは現在の私にとって大変貴重なものとなりました。

カワムラサイクルに来て2年、日々強く感じているのは、営業マンが非常によく気が付くということです。当社の営業マンは、車いすのメンテナンスを習熟してから営業に出ています。ユーザーが困っていれば、営業マンが直接駆けつけてメンテナンスを担当します。また、メンテナンスを行なうだけでなく、個人利用者や販売店にも日常のメンテナンスができるよう、全国で開催する「メンテナンス講習

会」でその方法を伝えています。そのほか、商品を販売したままで終わらず、ユーザーと末永く向き合いたいという思いから、車いすでの外出を楽しんでもらうための情報を集めた情報紙を、昨年より発行し始めました。それらはすべて「お客様第一」の思いから。この思いを込めて、当社では一般の営業所にあたる拠点を「サービスセンター」と称し、実際にその機能を果たしています。

私がマックスで学んだのは、「現場・現物・現実」の三現主義。現場に近いところでものづくりをしない限り、本当にユーザーにとって良いものは作れません。現場では、作り手の思いも寄らないことで困っている場合がある。それを発見して商品化することを、仕事の醍醐味として覚えました。今こうして社長という立場にあると、様々な局面で決断しなければなりません。だからこそ、私はできるだけ現場に近い人からいろんな情報を聞き取るようにしています。工場の中を歩いて声をかけたり、ちょっとずるいですが「飲みにケーション」をしたり（笑）。とにかくたくさんの人と、たくさん話をする。それが、私が仕事で一番大切

にしていることです。

カワムラサイクルとマックス、「現場＝お客様」の声を第一とする双方のスタンスをもって、これまで以上に観察する目を鍛えていけば、ユーザーが本当に望んでいるものを提供できるのではないかと考えています。

### 「利用者の安全・安心」の追求が 発想の源

斬新な商品で業界をあっと言わせるカワムラサイクル。それまでにない新しいアイデアの数々は、利用者の安全と安らぎを追い求める、日々の「地道な観察」から生まれている。

**山崎** 商品を開発する際の当社のこだわりは、社内検査室で日常的に行なう車いすの安全性試験。走行耐久性試験や静的安定性試験、落下試験やキャスト耐荷重試験など数々の製品テストを、JIS規格よりさらに高い基準値で試験段階から実施しています。試験に通らなければ改良し、問題が解消できなければ商品化しません。そのためどうしても発売時期が予定より遅れる場合がありますが、安全性を追求すればやむを得ないことです。



新商品のアイデアは、カスタマイズ品からニーズをピックアップしたり、従来商品の利用者へのモニタリングなどから探ったりすることが多いのですが、当社のブレーキかけ忘れ防止機能付き車いす「忘れ騎士（ナイト）2」は、空港で使われるキャリーから着想

を得ました。「レバーを握ると動き、手を離すと停止する」。これは、それまでの車いす業界にはない逆転の発想でした。この商品は、JRをはじめ鉄道各社で高い評価を頂き、駅の備え付け車いすとして導入していただいています。夢は「各駅最低1台」!

車いすに社会が求める普遍的なものは「安全性」ですが、これからキーワードになってくるのは「軽量」。特に欧米人と比べて日本人は小柄で、なおかつ住宅事情も考えると、軽量でコンパクトなものが要求されます。軽量のアルミを使った車いすは、今後の流れになると考えています。車いすは、機能的な部分ではある程度完成された領域に入っています。けれど、従来からの商品でも新たな良さに気付くこともあるので、使われる方それぞれに合ったものを提供することが大切。今年4月からは福祉用具専門相談員による個別サービス計画も始まり、制度としても変化しています。今後は「ここをリハビリさせたいから、こんな機能のある車いすをご提供します」と、利用者に最適なものをメーカー側からも提案していかねばなりません。

### 利用者に元氣になってもらいたい

カワムラサイクルは、さらなる成長の場を求めて、2010年より中国での販売を開始。そして日本国内でも、「元氣な高齢者」向けの新商品を発表し、新たなチャンネルを模索し始めている。

**山崎** 何と言っても、中国は市場が巨大。高齢者人口は日本の総人口と同じくらいあり、年間およそ140～150万台の車いすが市場に出回ると言います。日本と比べると障がいのある方や高齢者への車いすの普及は遅れていますが、民生局、障がい者連合会で障がい者のリハビリ施設を立ち上げ始めており、一部では給付制度というものを採り入れています。中国では今後相当の金額を投資すること

が国の方針としても出され、日本もノウハウを伝えるなどしているので、施設関係の状態についてもどんどん変わっていくはずです。ただし、日本市場との大きな違いは価格。中国市場では、日本円にして1万2000～3000円以下の車いすが8割近くを占めています。当社はそれより少し上をターゲットとして展開していきたいと考えています。

カワムラサイクルは車いすのノウハウをつぎ込み、このほど三輪車より一層安定した前双輪の特殊自転車「クークルS」を企画・開発・製造しました。今年7月よりマックスから発売しています。この商品は、どちらかと言うと体の元氣な高齢者の方に、外出時に使っていただくことをねらったもの。自転車には乗れないという方でも乗ることができ、ペダルをこぐという動きが足腰の筋肉を鍛え、元氣になって外出しやすくなる。外に出れば、刺激を受けてさらに元氣になります。「少し体力が落ちてきたけれど、支えがあれば外に出られる」という方の、活発な外出を促進するものを、いまカワムラサイクルでは力を入れて作っています。「高齢者、障がいのある方の移動サポーターNo.1になる」ということが、カワムラサイクルのテーマ。当社の商品を使うことで利用者の方に元氣になってもらって、もっともっと外へ出て行ってもらいたい。この思いを乗せた商品を発展させていくことが、会社の夢であり、私自身の夢でもあります。

### 自身の礎を築いた立命館

明るい笑顔ではつらつと話す姿が印象的な山崎さん。その気さくで温かな人柄は、ユーザーの思いに寄り添った企業の仕事姿勢に通じている。最後に、山崎さんは母校立命館への思いを語ってくれた。

**山崎** 学生時代は嵐山の方で下宿をしていたので、私の田舎の長野からも友達がたくさん来てくれました。本当に良

い環境で、友達にも恵まれていました。京都で立命館に通い、就職後すぐ大阪で7年間勤務。そして終盤の今、こうして再び関西に戻ってくるようになりました。大学をきっかけにこのように関西とご縁ができ、ある意味では立命館は自分の礎を築いた場所だと思っています。立命館は、他の大学と比べても非常に変化しているという印象を受けます。衣笠、草津、茨木と、キャンパスの展開も国際社会へ視線を置いてのこと。どんどん発展しており、また、年々良いカラーになってきている。私もその一員であることを大変嬉しく思っています。

## Profile



### Takashi Yamazaki

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 1956年 | 長野県出身                                                         |
| 1978年 | 立命館大学経済学部 卒業<br>マックス株式会社入社                                    |
| 2003年 | オフィスプロダクツ営業部第2OP営業G課長                                         |
| 2010年 | 介護機器営業部部長<br>マックス株式会社退社<br>株式会社カワムラサイクル入社<br>代表取締役社長<br>現在に至る |





# 海の方こうの立命人

ユニ・チャーム インディア 代表

木村 幸広 さん(’83 経営)

今や世界中に広がる校友たちの活躍の舞台。『海の方こうの立命人』では、各国で活躍する校友を紹介しします。今回は、インドで活躍するユニ・チャーム インディア代表の木村幸広さんにインタビューし、インドで働くこと、暮らすことについてお聞きしました。



PROFILE

**Yukihiko KIMURA**

三重県出身。ベビー用紙オムツを中心としたベビーケア用品や生理用品などを生産・販売する『ユニ・チャーム』のインド現地法人代表。2010 年 11 月よりインド校友会初代会長。学生時代はロックコミュニケーションサークルに所属。



## From India

### 「あすなろ」の国、インドに暮らして

インフラがまだ整備されていないインドでは、停電は 1 日 20 回以上。生産工場ではいつも電気と水の調達に苦労しています。生活面では食料の調達が悩みです。手に入るのは鶏肉とラム、夏場めっきり質の落ちる魚類としおれた野菜類。ほかの肉や魚は日本から持ち込んでいます。車の渋滞は日常茶飯事で、信号はあってないようなもの。秩序があまりなく、その都度変化する状況に判断力が求められます。インドという新興国の未発達性のなかで仕事をするのは簡単ではありませんが、この国は『あすなろ』の国。今日より明日、明日より明後日、少しでもよい暮らしがしたいと、人々はより高みを求めて進んでいます。そして望めばそのチャンスを与えてくれる国でもあります。

まだ女性が仕事を持たず家にいることが多い社会ですが、私の会社のオフィスにいる社員の 4 分の 1 は女性。高い学力をつけ、社会的地位を上げている逞しい女性が急増しています。12 億人のきれいな人口ピラミッドにより構成されているインドは、将来、国として大きくなっていくという期待感があります。日本で仕事をしているのと比較して、はるかに大きなスケールで仕事をしている感覚になりますね。

### インドの立命館校友たち

インドにいる校友はまだ少なく、異動等で入れ替わりも早いのですが、最近では若い方、特に女性がたくさんいらっしゃいます。かつて旅行で来たことからインドに魅せられたという方が多いのですが、やはりインドで成功している人はインドが好きなのが条件です。

ストレスのたまるこの国で、校友が集まれるというのはすごく良いこ

と。同じ立命館で学んだという所からつながりをスタートさせて、困ったことを自由に相談し合える仲間を作ってもらえるよう、校友会がその橋渡しとなればと思っています。いつかは発展させて勉強会なども開きたいですね。

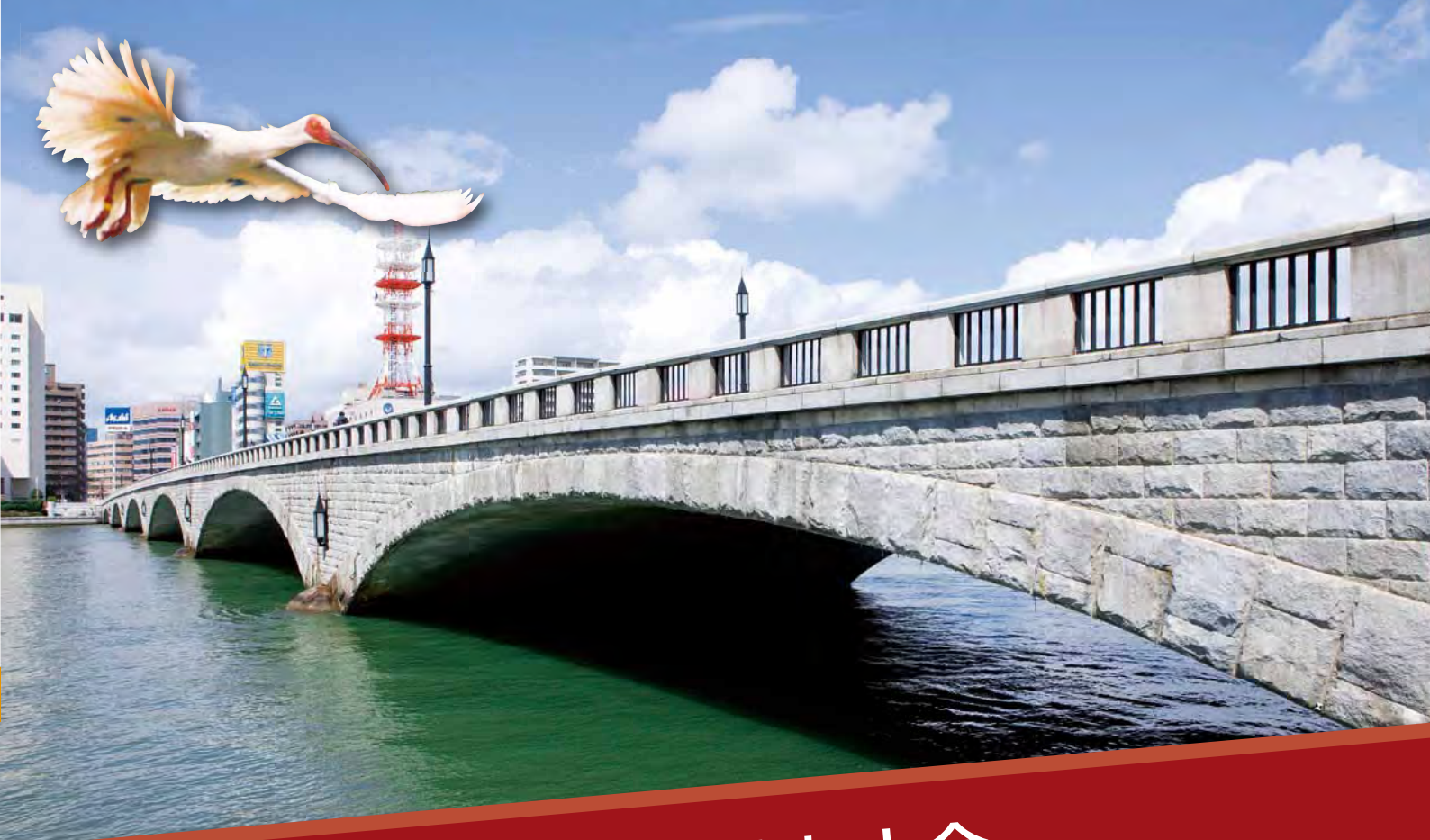
### インドにおける「日本」と立命館への期待

インドの日本に対する意識とは、実はまだ「日本ってどこ？」というもの。インド人にとって外国企業として頭に浮かぶのは、まずアメリカかイギリスの企業です。同じアジアで言えば、韓国勢の方が日本勢よりリードしているかもしれません。あまり日本に目が向いていないこの国で、インドの優秀な人材が日本企業に来てくれる素材はとても少ないのです。日本企業で働くことを志望し、言葉だけでなく、日本人の思考体系や、ものづくりの発想といったものを理解することができる人材を育む土壌が必要です。その土壌となることができるのは、立命館やAPUのような日本の高等教育機関ではないでしょうか。学生の間に日本の文化への愛情を養う場があれば、日本企業への意識も変わります。世界に向けて立命館が果たせる役割はますます大きくなっています。立命館の今後に期待！

校友会  
DATA

#### インド校友会

2010 年 11 月設立  
会員数 13 名  
総会開催時期：毎年 4 月頃



# R オール立命館校友大会 2012 in 新潟 開催直前特集！

いよいよ今年の校友大会が近づいてきました！  
今回は、新潟の魅力とともに大会のコンテンツを詳しくご紹介する特集でお届けします。  
※参加申込は締切っております。何卒ご了承ください。

10月6日(土) 12:45～20:30(予定)  
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

R Alumni

主催／立命館大学校友会、オール立命館校友大会2012in新潟実行委員会(新潟県校友会、長野県校友会、山梨県校友会、茨城県校友会、栃木県校友会、群馬県校友会、埼玉県校友会、千葉県校友会、東京都校友会、神奈川県校友会)  
共催／立命館大学、立命館アジア太平洋大学



## 企画1 『夢』トークセッション 立命館出身トップアスリートの軌跡 featuring 史佳 Fumiyoshi

後援／新潟県、新潟市、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、(公財)新潟県体育協会、(公財)新潟市体育協会、新潟日報社、BSn新潟放送、UX新潟テレビ21

あなたは『夢』をお持ちですか？  
夢を持つことで自らの可能性をひろげ  
世界に翔いた3名の女性トップアスリートの夢の軌跡

会場 朱鷺メッセ1階 ウェーブマーケットB

時間 12:45～14:30 入場無料 事前申込 先着順



千葉 真子

■マラソンランナー／  
スポーツコメンテーター  
1995年立命館宇治高等学校卒  
○1996年 アトランタオリンピック  
陸上女子10,000m 5位入賞  
○1997年 世界陸上アテネ大会  
女子10,000m 銅メダル  
○2003年 世界陸上パリ大会  
女子マラソン 銅メダル

世界陸上選手権でのメダル複数回獲得、異種目複数メダル獲得という偉業を果たす



武田 美保

■オリンピックメダリスト  
(シンクロナイズドスイミング)  
1999年産業社会学部卒  
○2000年 シドニーオリンピック  
デュエット・チームで銀メダル  
○2001年 世界水泳大会  
デュエット・チームで金メダル  
○2004年 アテネオリンピック  
デュエット・チームで銀メダル

オリンピックでのメダル獲得5回は日本女子選手史上最多



小島 智子

■元NFLチアリーダー  
2000年経済学部卒  
○2003年 単身渡米し、16倍の難関を越えNFLタンパベイ・バッカニアーズのチアリーダーオーディションに合格、同チーム日本人初のチアリーダーとなる  
以降日本人NFLチアリーダー最長となる8シーズン連続合格という快挙を遂げる  
また2010～2011シーズンには日本人史上初のチームキャプテンに抜擢される



コーディネーター  
近藤 祐司

スポーツアンカー  
1996年経済学部卒



総司会  
富高 由喜

(株)新潟テレビ21アナウンサー  
1999年法学部卒

featuring



ライブ演奏

●オープニングアクト  
●クロージングアクト

総勢50人による迫力ある合奏(予定)  
バイオリン・シンセサイザーとのコラボ(予定)

史佳 Fumiyoshi 三味線プレイヤー。新潟市出身。1997年理工学部卒

母親が三味線奏者のこともあり9歳より三味線をはじめる。独奏にとどまらず50人の大合奏やカルテット、パーカッションとの共演など古典芸能の枠を超えた活動を広げる。近年は海外にも活動の輪を広げている。

## 企画2 レセプション

新潟の美酒肴とともに、校友同士の語らいを存分にお楽しみください

会場 朱鷺メッセ1階 ウェーブマーケットA

時間 14:55～17:20  
参加費 8,000円(全席着席形式)

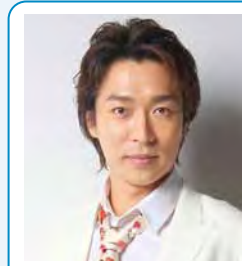
今回のレセプション(懇親会)は、全参加者が一つの会場に集結しての開催となります。歓談中のアトラクション上演等はありませんので、参加者同士の交歓をじっくりと大いにお楽しみください。「食材の宝庫」新潟の特色ある郷土料理とお酒をご用意いたします。

総会パート 14:55～15:20

- ・開会挨拶
- ・校歌斉唱
- ・会長挨拶
- ・来賓祝辞
- ・総会議事

懇親会パート 15:20～17:20

- ・乾杯発声
- ・会旗引継式
- ・応援歌斉唱&エール
- ・閉会宣言



歌のアペリティフ

渋谷 文太郎

シャンソン歌手。  
1998年政策科学部卒。



笹だんご



日本海の幸



タレかつ丼



つべ煮



新潟地酒



新潟コシヒカリ炊きたて

※料理写真はイメージです。

## 企画3 公式二次会

新潟の銘酒を心ゆくまで  
ご堪能ください

会場 朱鷺メッセ31階 展望室

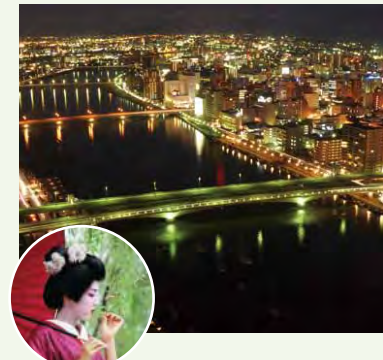
時間 17:45～19:30  
参加費 2,000円(立食形式)

参加有料

事前申込

先着順

レセプション参加者の方を対象に、「公式二次会」を開催します。新潟屈指の地酒や肴に加えて、新潟の伝統ある花街古町より芸妓を招いての演舞も行われます。会場となる朱鷺メッセ31階展望室からの眺望は素晴らしく、眼下に暮れ行く街並みや信濃川、そして天候が良ければ水平線の彼方に消えていく夕陽を楽しむことができます。



## 企画4 女子夜会

新潟の美酒・スイーツとともに  
女性校友同士の交流を!

会場 朱鷺メッセ2階「月下氷人」

時間 18:30～20:30  
(男性のご参加はご遠慮ください)

参加無料

事前申込

先着順

2010in福岡、2011in京都でそれぞれ好評を博した女性校友交流企画を今回も実施します。朱鷺メッセ内「月下氷人」を会場に、新潟の美酒肴に加えて特産フルーツやスイーツなどをご用意。シャンソン歌手渋谷文太郎さんのミニライブなどを交え落ち着いた雰囲気、気兼ねのないフランクな交流をお楽しみください。



ミニライブ

渋谷 文太郎

シャンソン歌手。  
1998年政策科学部卒。

同時開催!



一般入学試験要項(願書)  
無料配布予約同時受付!

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター2F

2013年度入試受験生対象

10/6(土) 個別相談会

10/7(日) 英語得点アップ  
対策講座

イベントの詳細は、受験生のための入試情報サイト「リッツネット」をご確認ください。

リッツネット 検索



託児室開設!  
お子様連れの方も安心してご参加ください。

無料  
事前申込

【委託先】(有)ベビーヘルパーPOPO



祝 卒業30周年!  
卒業30年目校友(1982年・昭和57年卒・修了)の方は、

レセプションチケット無料

大会翌日オプション企画

オール立命館校友大会2012 in 新潟  
記念ゴルフコンペ大会

参加有料 事前申込







■新潟市の概要

港町と田園が共存する本州日本海側唯一の政令指定都市、新潟市。日本一の大河・信濃川が日本海に注ぐ好立地で、千年の歴史ある港町として栄えてきました。江戸時代には北前船の寄港地として賑わい、安政の修好通商条約では開港5港のひとつとなりました。また、市内広域には豊かな田園が広がり、県内随一を誇る豪農の館や、稲架木(はさぎ)の風景が、米どころ新潟を感じさせます。日本海に沈む夕日美しい海岸線、日本の原風景を思わせる潟湖や山々、歴史ある温泉街など、観光資源に恵まれています。

1 朱鷺メッセ

新潟市内で一際高くそびえる朱鷺メッセは、国際会議場、ホテルなどを一体化した最新の複合コンベンション施設です。

2 佐渡汽船ターミナル

佐渡へフェリーで2時間半。ジェットfoilで1時間。お問合せ:025-245-1234

3 ピアBandai

新潟漁業協同組合地方卸売市場

日本海の鮮魚や産直野菜、果物・肉・米・銘酒など新潟の食材が揃う。寿司やそばなど新潟名物の飲食店も立ち並んでいます。隣に漁業協同組合卸売市場があり、旬の魚介類やお寿司を楽しめます。

4 萬代橋

2004年、国道に架かる橋としては日本橋に次いで2例目となる重要文化財に指定されました。

5 本町市場

商店街と露店が一体となった新潟市民の台所。新鮮な魚介類や野菜などが並び、観光客にも人気のスポットです。

6 みなとびあ

2004年に誕生した、自然と調和のとれた歴史&文化ゾーン。港町新潟の歴史と文化を様々な手法で伝えます。

※写真提供:新潟コンベンションセンター

R Alumni 立命館大学校友会事務局(立命館大学社会連携部 校友・父母課)

E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地 立命館朱雀キャンパス内

校友会レポート

全国各地の特色ある校友会活動の様子をお伝えします。

福岡県校友会「立門会」 北九州校友会新人歓迎会「ウェルカムパーティー2012」

▶2012年6月16日(土) ▶2012年6月23日(土)

熊本県校友会新人歓迎会

▶2012年6月23日(土)



2010年、福岡県で開催された校友大会をきっかけにますます活動が活発化している九州・沖縄ブロック。同ブロックでは、総会だけでなく、若手や女性校友の活動を盛り上げる「新人歓迎会」が各地で盛んに行なわれています。その中でも、福岡県校友会、北九州校友会、熊本県校友会の三つが開く新人歓迎会を取り上げます。

福岡県校友会「立門会」は、元々は博多にいる校友の懇親の場でしたが、校友大会にあたって若手校友を掘り起こし、ネットワークを強化させようと、2010年より、現在のように新人歓迎会を兼ねた形となりました。毎回、新卒を含めた20～30代の若手50名前後が参加しています。立門会の特徴は、北九州校友会やAPU校友会など、他の若手校友との交流も盛んなこと。会では、北九州校友会新人歓迎会の広報なども行なわれます。

北九州校友会新人歓迎会「ウェルカムパーティー」は2008年から開催され、今年で5回目。若手や女性校友が集まらない状況を打開しようと企画されたのが始まりで、ブロックにおける「新人歓迎会のパイオニア」です。例年50～70名が参加しています。北九州では、若手が主役の新人歓迎会だからこそ気をつけていることがあります。「『グレーター立門』や校歌は歌わない」、「名刺交換をしない」、そして「女性とおじさんが肩を組んではいけない」、の三つです。今年は、若手とベテランのテーブルを分けて設定し、場が盛り上がったところで席替えをするなど座席配置の工夫もありました。

熊本県校友会新人歓迎会は2010年から始まりました。40名前

後の参加者のうち、今年は10名が新人。新人の割合が多いのには、熊本では職域が盛んで、若手や女性校友への声かけが積極的に行なわれてきたという背景があります。熊本では、新人からは参加費を徴収せず、若手が和める場所選びに重きを置いています。また最も特徴的なこととして、秋に開く就職情報交換会に協力してくれる若手を発掘する場として、新人歓迎会が機能していることが挙げられます。

各地の新人歓迎会は毎回非常に盛り上がり、終了後、グループで二次会や女子会へと繰り出すところも少なくありません。今年参加した熊本県の新人校友からは、「校友会は堅いイメージだったけど、実際に行ってみると、気軽にたくさんの先輩方と話すことができた。京都から離れていても、こうして大学のつながりで集まれるのっていいなと思いました」と喜ぶ声が聞かれました。

それぞれの「らしさ」を持ちながら三つの会に共通しているのは、参加者が自由に会話を楽しめる時間を主内容にしているということ。企画の数は抑え、儀礼的なものも極力控え目にしています。北九州と熊本は、若手目線の内容にするため、企画・運営をすべて若手に任せようとしています。若手たちへの心遣いにあふれた新人歓迎会は、先輩・後輩の壁を越えたつながりを作ることに成功していました。

お知らせ 九州ブロックでは、10月20日、熊本県で、ブロック全体でのバーベキュー大会を予定しています。





### 都道府県校友会

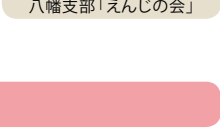
- 6/9 滋賀県校友会総会 (180名・大津プリンスホテル)   
滋賀県校友会
- 6/9 高知県校友会総会 (53名・高知会館)   
高知県校友会
- 7/6 大阪校友会総会 (600名・ザ・リッツカールトン大阪)   
大阪校友会
- 7/7 岩手県校友会総会 (18名・ホテル東日本)   
岩手県校友会
- 7/7 岐阜県校友会総会 (130名・岐阜都ホテル)   
岐阜県校友会
- 7/7 愛媛県校友会総会 (70名・松山全日空ホテル)   
愛媛県校友会
- 7/14 香川県校友会総会 (188名・ホテルパールガーデン)   
香川県校友会
- 7/14 徳島県校友会総会 (71名・阿波観光ホテル)   
徳島県校友会
- 7/22 静岡県校友会総会 (60名・クーポール会館)   
静岡県校友会
- 7/22 岡山県校友会総会 (220名・アークホテル岡山)   
岡山県校友会
- 7/28 青森県校友会総会 (27名・ウェディングプラザ「アラスカ」)   
青森県校友会
- 7/28 秋田県校友会総会 (25名・パーティーギャラリーイヤタカ)   
秋田県校友会
- 7/29 宮城県校友会35周年総会 (44名・仙台ガーデンパレス)   
宮城県校友会
- 7/29 神奈川県校友会30周年総会 (120名・崎陽軒本店)   
神奈川県校友会
- 8/4 沖縄県校友会総会 (30名・ホテルロイヤルオリオン)   
沖縄県校友会

### 海外校友会

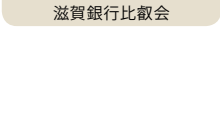
- 7/31 ハノイ校友会懇親会 (5名・紀伊)   
ハノイ校友会
- 8/2 タイ王国校友会懇親会 (14名・浪花)   
タイ王国校友会
- 8/4 シンガポール校友会懇親会 (11名・POR KEE EATING HOUSE)   
シンガポール校友会
- 8/6 サイゴン校友会懇親会 (6名・ユートピアカフェ)   
サイゴン校友会

### 地域校友会

- 6/2 愛知県校友会東三河支部総会 (74名・ホテルアソシア豊橋)   
愛知県東三河支部
- 6/9 東広島地区校友会総会 (29名・賀茂泉館)   
東広島地区校友会
- 6/16 新潟県校友会上越支部設立総会 (20名・新潟県教職員互助会館 高陽荘)   
新潟県校友会上越支部
- 6/23 愛媛県校友会宇和島支部総会 (20名・宇和島国際ホテル)   
愛媛県宇和島支部
- 7/1 亀岡校友会総会 (25名・ガレリアかめおか)   
亀岡校友会
- 7/7 山口周南地区校友会総会 (52名・ホテルサンルート徳山)   
山口周南地区校友会

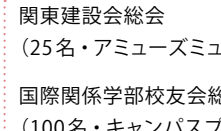
- 7/8 八幡支部「えんじの会」総会 (30名・八幡市福祉センター)   
八幡支部「えんじの会」
- 7/28 愛媛県校友会東周支部総会 (13名・岩城)   
愛媛県東周支部

### 職域校友会

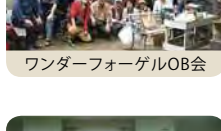
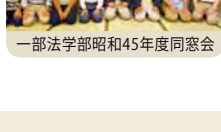
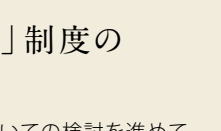
- 6/1 草津市立命館大学校友会総会 (75名・ホテルボストンプラザ草津)   
草津市立命館大学校友会
- 6/6 高槻市役所槻立会総会 (50名・アンシェルデ・マリアーヂュ)   
高槻市役所槻立会
- 6/9 滋賀銀行比叡会総会 (90名・大津プリンスホテル)   
滋賀銀行比叡会
- 6/9 滋賀県職員校友会総会 (42名・コラボしが21)   
滋賀県職員校友会
- 6/16 技術士会総会 (39名・中央電気倶楽部)   
技術士会
- 7/2 立命京滋観光の会20周年総会 (55名・ホテル京阪)   
立命京滋観光の会
- 7/6 奈良市役所立命会総会 (50名・飛鳥荘)   
奈良市役所立命会
- 7/6 八尾市役所立八会総会 (40名・遊景の宿 平城)   
八尾市役所立八会
- 7/13 ひろぎん立命会総会 (60名・ホテルニューヒロデン)   
ひろぎん立命会
- 7/21 全国行政書士立命会総会 (35名・朱雀キャンパス)   
全国行政書士立命会
- 7/25 姫路市役所衣笠会総会 (45名・ホテル日航姫路)   
姫路市役所衣笠会
- 7/27 兵庫県庁清和会総会 (23名・兵庫県民会館)   
兵庫県庁清和会
- 7/31 金沢市役所立林会総会 (25名・金澤玉寿司本店)   
金沢市役所立林会

### 学部・学科校友会

- 6/8 建設会広島県支部総会 (40名・ひろしま国際ホテル)   
建設会広島県支部
- 6/30 法学部同窓会総会 (150名・京都ロイヤルホテル&スパ)   
法学部同窓会
- 7/7 立命電友会20周年総会 (280名・京都全日空ホテル)   
立命電友会
- 7/7 法学部商法塩田ゼミOB会総会 (26名・京都ホテルオークラ)   
法学部商法塩田ゼミOB会

- 7/13 関東建設会総会 (25名・アミューズミュージアム)   
関東建設会
- 7/14 国際関係学部校友会総会 (100名・キャンパスプラザ京都)   
国際関係学部校友会

### サークルOB・OG会 / その他の会

- 2/20 理工学部基礎工学科44・45同窓会 (13名・別府市内)   
基礎工学科44・45同窓会
- 5/25 ワンダーフォーゲルOB会 1969年卒同期同窓会 (18名・京都市内)   
ワンダーフォーゲルOB会
- 6/2 ウリ同窓会60周年記念総会 (80名・ホテルグランヴィア京都)   
ウリ同窓会
- 6/2 大同研究室OB会 (50名・TAWAWA)   
大同研究室OB会
- 6/3 応援団OB・OG洛翠会総会 (22名・朱雀キャンパス)   
応援団OB・OG洛翠会
- 7/21 一部法学部昭和45年度2回生Lクラス同窓会 (20名・京都平安ホテル)   
一部法学部昭和45年度同窓会
- 7/21 清和会総会 (427名・ウェスティン都ホテル京都)   
清和会

### お知らせ

#### 立命館大学校友会「年会費」制度の廃止について

当会では、かねてより会費制度の見直しについての検討を進めておりましたが、去る6月2日の幹事会にて、2012年をもって「年会費」を廃止し「終身会費」に一歩化する事を決定いたしましたので、お知らせいたします。

- ①「年会費」制度は2012年12月31日をもって廃止します。
- ②2013年1月1日以降、  
当会の会費制度は「終身会費」のみとなります。

なお、このお知らせは、立命館大学校友会(本部)の会費制度についてのものです。都道府県校友会、海外校友会、学部・学系の校友会・同窓会、グループ校友会(地域、職域、学科・ゼミ、サークル、卒業年次等による会)等の会費につきましては該当いたしません。これらの会の会費は、立命館大学校友会(本部)の会費とは別に、各会がそれぞれの定めに基づいて徴収します。当該の校友会にご所属の方は、よろしくご承知ください。



# 立命館のゼミナール訪問

衣笠

## 河原ゼミ(文学部)

📖 河原ゼミ：文学部 河原典史教授

📖 ゼミテーマ：地理学的アプローチからみる京都の諸問題

文学と歴史、そして地理学の観点から京都をフィールドワークするというコンセプトで作られた京都学専攻。河原ゼミでは、「場所や地域の持つ意味が、時代によってどのように変化しているのか」という地理学的アプローチから京都を考察しています。

Interview

### 京都から日本、そして海外を理解する

京都は、日本の伝統文化を守りつつ、新しいものを受け入れ変化し続けてきました。ゼミでは、そんな京都の人々の営みのなかに隠された技や伝統、その歴史が作られてきたシステムを明らかにすることで、京都という土地とその文化、さらには日本固有の文化をも理解し、各地で応用可能なシステムを発見・提案していくことを目指しています。

観光や信仰というテーマならば、京都を事例に日本文化の典型的なタイプを理解することになります。また、「こんな変革期をクリアしたことで現在も続いている」といったことを明らかにできれば、その発見を京都以外の地域に応用することも可能です。例えば、祇園祭は、人々の暮らしの変化に応じて祭りの担い手も変化させ、存続の方法を見出しています。そのシステムを学ぶことで、「祭り」というイベントをこれからの時代に維持していくために必要なことが分かってくるのです。

### 日頃の研究活動の積み重ねから就職での強さ培われる

ゼミ生は、論文など先行研究を調査するとともに、こまめにフィールドワークに出かけ、それぞれのテーマを追求しています。

フィールドワークでは、初対面の人のもとに一人で飛び込んで資料を集め、地域の方と信頼関係を築かなければならない。そんな経験を重ねた学生たちは、どんな進路に進んでも胸を張れる社会性を養うことができると思います。

ゼミでは、読んだ論文の調査の目的・方法などをまとめた「論文カード」の作成も課題にしています。自分の論理を実証するには、裏付けとなる証拠



を得るために、たくさん論文を読まなければいけません。論文を読むたびにカードを作っていくと、研究の傾向や各分野でのキーパーソンなどがつかめてくる。また、カードの作成を重ねれば、同じ分量の就職活動のエントリーシートの作成も苦にならなくなる。継続すれば、研究活動だけでなく就職活動でも、大きな力になるのです。

### フィールドワークを通して「ほんまものの力」を手に入れて欲しい

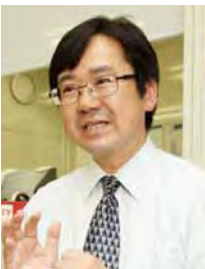
興味のあるテーマを、学生ならではのフレッシュな視点で実証し、やがて地域の人も気付かないシステムを発見した時が、私にとって何よりの喜びです。ゼミ生には、歴史地理学というアプローチならではのフィールドワークを中心にして、「ほんまものの力」を身につけてほしい。埋もれた資料や普通の人が気付かないことを集め、現地で実際に自分が感じてきたことを文章にして、論理的に実証する力。そして、その過程で他人との間に信頼関係を作ることができる力。それは京都学を学んだ者だからこそその力だと思います。

#### Profile

河原典史 (かわはら のりふみ)

文学部教授

1988年立命館大学文学部地理学卒業。1993年立命館大学大学院文学研究科博士後期課程地理学専攻単位取得退学。立命館大学文学部助教授(准教授)等を経て2010年より現職。2001年度、2008年度後期カナダ国・ブリティッシュ・コロンビア大学客員研究員。現在、大学コンソーシアム京都・京都学企画検討委員、亀岡市文化的景観検討委員などを務める。



### 「地域に学び、地域に還元する」を実践

文献調査などに加えてゼミ生たちが最も力を入れているのが、フィールドワーク。地域住民や関係者しか見ることのできないものなど、貴重な資料を手に入れるのに必要なのは人々との信頼関係だ。ゼミ生たちは現地に熱心に足を運び、対話を重ね、熱意と誠意ある調査で自らの道を切り拓いていく。研究を通して、人間的な成長を感じている学生も多い。

昨年から河原ゼミでは、亀岡市が文化庁の重要文化的景観の選定を目指して保全に取り組む「保津川下り」の調査を、行政や地域の



人と共に進めてきた。地域の人との触れ合いから学び、調査の結果を今後の地域の取り組みに生かす。京都学のポリシー「地域に学び、地域に還元する」を実践している。

3・4 回生

Schedule

前期

3 回生 卒業論文をめぐる研究史の整理、夏休みの研究計画の発表

4 回生 卒業論文の中間報告

他大学との交流研究会(予定)

後期

3 回生 夏休みの研究結果の報告、卒業論文にむけての研究計画

4 回生 卒業論文の最終報告、卒業論文提出・口頭試問

4 回生の送別会

Student's Voice

知的生産力を養える



文学部4回生 佐藤弘隆 さん

私は、祇園祭の山鉦町の一つである「船鉦町」という地域で調査。地域の方々と積極的に関わることでラポール(信頼関係)を築き、町内の有識者からマンションの住人の方で、様々な方から貴重なお話を聞くことができました。現在この情報を元に、マンションの出現が祇園祭の運営に与えた影響について考察する論文制作を目指しています。苦労もありましたが、研究を通して知的生産力を養うことができたと思います。

BKC

## 高田ゼミ(情報理工学部)

📖 高田ゼミ：情報理工学部 高田秀志教授

📖 ゼミテーマ：協調的活動支援のための分散コンピューティング環境の構築

コンピュータは、従来の人間の活動を尊重しながら、もっと人をつなぐ機能を果たせるはず。高田ゼミでは、コンピュータによって、日常生活や学習環境などにおける人の協調的活動を支援するシステムの構築を目指しています。

Interview

### 「人と人をつなぐ」コンピュータの働きを追究

自分が使っているPC上の情報を近くにいる人と共有しようとしても、簡単にできるのはせいぜい画面を見せ合う程度でしかありません。コンピュータを使って、同じ場所にいる人が情報を即座に共有し、新しいアイデアを生み出したり、合意形成をしたりということがもっとスムーズにできないか。コンピュータによって人と人との間の情報共有や協調作業を促進することがゼミの研究のねらいです。

具体的な研究の一つに、すれ違いざまに人々が情報を交換する『街角メモリ』があります。「PCや携帯端末でも偶然に情報を見つけることができれば」という思いから開発されたこのシステムは、すれ違った人同士が興味のある情報をツイッターによって交換できるようになっています。Androidアプリとして誰でもダウンロード可能なので、ぜひたくさんの方に利用してもらいたいですね。

子どもたちの協調的な学習環境作りについても研究しています。子どもたちが自分のPC画面に没頭することなく、仲間と一緒にコンピュータを使って創作活動ができるようにするにはどうすればよいか。私たちは、コンピュータ上に「視点の制約」を入れるという方法を試みました。コンピュータをつないでみんなで行う一つのアニメーションを作ることができるようにし、PCごとに見える範囲を決めると、役割分担が生じて子どもたちが協力して創意工夫するようになったのです。研究を通して構築したシステムは実際にワークショップなどで使っています。

### 研究では自分たちが主役。学生ならではの発想を大切に

研究室では様々な分担があり、ゼミの運営はすべて学生に任せて



います。日常のことから研究まで、学生には「自分たちの研究室」という意識を持ってもらいたいのです。

研究では、どんなテーマがこれから芽を出してくるのかと世間の動向を捉える目が大切です。ゼミは学生たちの成長の場。まずは学生ならではの自由な発想を生かして、学生間で大いに議論をし、その先でより良い研究成果を挙げることを目指してほしいと思っています。

### 今の自分より少し上を追い続けて

ゼミ生には、「共同で取り組み、成果を出す」という基本的な力を伸ばしてもらいたい。組織の一員として取り組む仕事という意識を身につけ、お互いに成長することが大切です。「今までできなかったことができるようになる」「今回よりも次はもっとよくなる」。そんなことをゼミを通してどんどん積み上げてほしい。自分の力より少し上のものを常に目指して。その積み重ねは必ず人を成長させるはずです。

#### Profile

高田秀志 (たかだ ひでゆき)

情報理工学部教授

1991年京都大学工学部情報工学科卒業。1993年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程(前期)修了。2001年京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻博士課程(後期)修了。三菱電機(株)産業システム研究所・先端技術総合研究所研究員、京都大学情報学研究科研究員を経て、2006年立命館大学情報理工学部准教授。2010年より現職。博士(情報学)。



### ゼミを通して「社会」を学ぶ

ゼミは、研究の進捗状況や関連文献の調査結果に関するプレゼンが中心。学会と同じ発表形態では、自分の意見を論理的に伝えることが求められ、プレゼンテーション能力が鍛えられる。研究にはグループで取り組むため、普段からディスカッションの実践が積み重ねられており、授業でも先輩・後輩の区別なく活発に意見が飛び交っている。その一方で、後輩は良き相談相手として先輩に信頼を寄せており、上下関係のある「仕事仲間」としての意識も強い。学生たちがゼミを通して「社会」を学んでいることが分かる。

卒業後はIT業界だけでなく、ITの知識と経験を生かして広告業界や自動車業界に進む学生もいるという。

4 回生

Schedule

前期

研究テーマの具体化と討論

分散・協調システムに関する文献調査

コンセプトデモシステムの構築

後期

システムの実装と評価

卒業論文の執筆

学会発表論文の執筆と発表



Student's Voice

学ぶ意欲をかりたてる教育環境の構築を目指す



情報理工学部 4 回生 北原惇士 さん

私たちの研究室は、「分散」と「協調」をキーワードにした四つのプロジェクトで成り立っています。私が所属するプロジェクトでは主に小学生を対象に研究を行ない、月に2回ほど開かれるNPO主催のワークショップが実践の場となっています。その活動中に生じた課題を、ITシステムを用いて解決できないかと日々、議論・開発。子どもたちの「もっともっと学びたい!」という意欲をかりたてるような教育環境の構築を目指しています。



## SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター  
075-465-7863

## ロンドンオリンピック

立命館大学の在校生・校友5名が  
ロンドンオリンピックで大健闘

7月27日（金）から8月12日（日）にかけて開催されたロンドンオリンピックにおいて立命館大学の在校生・校友5名が大健闘を見せました。主な成績は以下のとおりです。

## ■乾友紀子さん（経営4）

小林千紗さん（校友・2010年経済卒）  
・シンクロナイズドスイミング女子デュエット 5位入賞  
・シンクロナイズドスイミング女子チーム 5位入賞

## ■渡邊大規さん（校友・2011年経営卒）

カヌースプリント男子カヤックペア 200m 10位

## ■林なぎささん（校友・2009年産社卒）

ホッケー女子 9位

## ■牧野幸雄さん（校友・2004年経済卒）

セーリング 49er級 18位



## ソフトテニス部男子

第66回文部科学大臣杯全日本大学  
対抗ソフトテニス選手権大会で  
2年ぶり3度目の準優勝

（8月4日、5日 山口県維新百年記念公園テニスコート）

第66回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会において、ソフトテニス部男子が団体で2年ぶり3度目の準優勝を果たしました。



立命館大学は2回戦から登場。準々決勝は同大会最多優勝を誇る日本大学を破り3年連続の準決勝進出を果たしました。準決勝は、昨年の同大会優勝校である日本体育大学と対戦。1次戦では1回生の清原毅文さん（経営1）・廣田晃一さん（経済1）ペアが奮起し、2次戦では早川和宏さん（スポーツ健康科学3）・榎恭宏さん（経営2）ペアが勝負を決め3-1で決勝戦進出を果たしました。決勝では、早稲田大学に惜しくも敗れたものの、見事に2年ぶり3度目の準優勝を果たしました。

## 相撲部

山中未久さんが第3回全日本女子相撲  
郡上大会で中量級三連覇を達成

（8月18日 岐阜県群上市相撲場）

第3回全日本女子相撲郡上大会において、山中未久さん（スポーツ健康科学1）が中量級で優勝し、同階級で三連覇を達成しました。無差別級でも3位を獲得し、団体戦においても全静岡Aチームの一員として出場し、優勝を果たしました。5月に開催された西日本選抜女子相撲大会での中量級・無差別級の2階級制覇に続く、快挙となりました。



## 陸上競技部

秩父宮賜杯第65回西日本学生陸上競技  
対校選手権大会で好成績を挙げる

（7月6日～8日 西京極総合運動公園陸上競技場）

第65回西日本学生陸上競技対校選手権大会において、女子10000mで前田浩唯選手が48分38秒67（大会新記録）で優勝を果たすなど、多数の種目で優秀な成績を収め、5月に開催された関西陸上競技対校選手権大会に引き続き、健闘の光る結果となりました。

## 主な成績

◆男子400mH  
優勝 小西勇太さん（経済4）

◆男子800m  
優勝 今崎俊樹さん（経営4）

◆男子10000m  
優勝 吉村直人さん（経営2）

◆女子5000m  
優勝 津田真衣さん（経営2）

◆女子10000m  
優勝 阪田愛子さん（経済1）

◆女子10000mW  
優勝 前田浩唯さん（経済3）

## 日本拳法部（男子）

日本拳法第25回全国大学選抜選手権  
大会で初の全国制覇

（6月3日 早稲田大学記念会堂）

日本拳法第25回全国大学選抜選手権大会が開催され、日本拳法部（男子）が、初の全国優勝を果たしました。2000年の同大会で準優勝に輝いて以来の快挙となりました。2回戦で2011年度優勝校の大阪商業大学、準々決勝で芦屋大学、準決勝で関西学院大学と対戦。接戦が続いたものの、2011年度全日本学生チャンピオンである主将の辻竜汰さん（政策4）と西村拓真さん（産社4）を中心としたチーム力によって勝利を重ねていきました。決勝の中央大学との試合では、代表者戦にもつれ込む接戦となりましたが、辻さんが勝利を収め、初優勝を果たしました。辻さんは今大会の最優秀選手賞に選出されました。



## CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス  
075-465-8167

## かるた会

第19回全日本大学かるた選手権大会  
大学代表の部で本田恭子さんが初優勝

（8月11日、12日 近江神宮勤学館）

第19回全日本大学かるた選手権大会において、大学代表の部で本田恭子さん（スポーツ健康科学3）が個人戦の部（大学代表の部）で初優勝を果たしました。惜しくも団体の部

は2回戦敗退に終わりましたが、個人戦の部では以下の通り優秀な戦績を収めました。

## 個人戦の部

◆大学代表の部  
優勝 本多恭子さん（スポーツ健康科学3）

◆2回生の部A  
優勝 飯田花菜子さん（文2）

◆2回生の部B  
優勝 田中悠貴さん（経済2）



## 囲碁研究部

全日本学生因坊決定戦で  
男女アベック優勝を達成

（8月10日～12日 パレスサイドビル）

囲碁のアマチュア学生棋士日本一を決める全日本学生本因坊決定戦（第56回全日本学生因坊決定戦、第48回全日本女子学生因坊決定戦）において、田中信幸さん（政策4）と呉理沙さん（国関2）がともに初優勝を果たし、男女アベック優勝を達成しました。田中さんは学生十傑戦、学生王座戦を含めた学生タイトル三冠を達成しました。また、全日本女子学生因坊決定戦の決勝戦で、呉さんと優勝をかけて戦った堀本範子さん（産社3）が準優勝（2回目）、星さゆりさん（経営1）が4位を獲得しました。



対局中の呉さん



対局中の田中さん

## 将棋研究会

富士通杯争奪全国大学対抗将棋大会で  
将棋研究会が準優勝

（8月17日～19日 富士通ソリューションスクエア）

富士通杯争奪全国大学対抗将棋大会が開催され、将棋研究会が準優勝を果たしました。2011年の同大会3位を超える成績を残しま

した。今大会では上回生数名を欠き、残念ながら東京大学と京都大学に敗れたものの、多くの1、2回生が活躍し、昨年の同大会で敗れた早稲田大学を破るなど健闘を見せ、総合成績で準優勝を獲得しました。引き続き開催される、オール学生将棋選手権（団体戦）や学生将棋対抗団体戦（王座戦）などでも日本一を目指した活躍が期待されます。



## バトントワリング部

第31回 世界バトントワリング選手権  
大会において立命館大学立命館  
バトンチームがチームで準優勝

（8月2日～5日 フランス・ヴィルボンシュルイヴェット）

第31回 世界バトントワリング選手権大会において、日本代表として出場した立命館大学立命館バトンチームが、見事準優勝を果たし、19大会連続20回目となる国別総合での1位獲得に貢献しました。本学バトントワリング部から日本代表として、フリースタイルチーム、フリースタイルペア、フリースタイル個人（女子シニア）で在学生9名、校友4名が出場しました。



## CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス  
075-465-8167

## 小学生夏休み自由研究企画

「立命の家2012」を開催

（8月22日、23日 びわこ・くさつキャンパス）

「立命の家2012」を、びわこ・くさつキャンパス内で開催しました。各学部のプロジェク

団体が中心となり、地域の子どもたちに自ら学ぶ楽しさを知ってもらう体験型の学習機会として企画・運営するもので、今年で12回目の開催となりました。

当日は、パソコンを使っのゲーム作り、身近な物を使った科学実験、ミニソーラーカー作り、手作りプラネタリウ



ムによる天体観測、小型飛行機作り体験等を行ないました。英語を用いたゲームでは、子どもたちが自然と英単語を言えるように、体を使って表現することで、英語に親しんでいく様子がみられました。子どもたちは一つ一つの企画に熱中し「学びへの関心」が高まったようで、学生側も「教える、伝える」難しさと喜びを感じて自らの学習や研究を深める機会となり、楽しみながら双方が成長できた2日間となりました。

## 第5回「京北・納豆フェスタ」を開催

（7月10日 衣笠キャンパス）

7月10日（火）、衣笠キャンパスにて、第5回「京北・納豆フェスタ」を開催しました。「京北・納豆フェスタ」は、「薫つと納豆」発祥の地とされる京北地域関係者・NPO法人フロンティア協会・納豆製造業者・産業社会学部を中心に連携活動の機会を持つことを狙いとしています。また、大学を産・学・民・地の交流拠点とし、中山間地域における殖産興業型地域振興に向けた連携を深化させ、農山村と都市との発信型の交流の機会を作ることを目的としています。当日は、納豆製造業者と連携して開発した「りつまめ納豆」のPRや京北産夏野菜の即売や黒豆を使う新製品のデザインコンペなどが行なわれ、多くの学生や教職員が京北地域の味を楽しむ姿が見られました。





## 東日本大震災 私たちにできること

### 夏期休暇中 150名以上の学生が 岩手県で復興支援ボランティアを実施

夏期休暇(8月3日(金)～9月25日(火))にあわせて、150名以上(※)の学生・教職員が岩手県(大船渡市、釜石市、大槌町、遠野市、宮古市)で復興支援に関するボランティア活動を行ないました。大学によるボランティアバス企画においては、被災をした地域で開催されるお祭りの運営サポートや子どもたちの学習支援、農業の復興支援活動を実施し、理工学部の教員・学生による仮設集会所建設プロジェクトなど、大学として教育や学びの特色を生かした活動を展開。立命館大学として復興に関する協定を締結した岩手県大船渡市では、2つの七夕まつりの運営サポートとして活躍。主催者から参加要請があった盆踊りの場では、事前に特訓を行ない参加しお祭りに華を添えました。

(※)大学のプログラムを通じて派遣される学生の数を集計したものです。

#### ■夏期休暇中のボランティア派遣

- 7月上旬～8月末 理工学部・宮古市仮設集会所建設プロジェクト
- 8/2(木)～8/8(水) 大船渡夏祭りサポートプロジェクト
- 8/2(木)～8/22(水) 立命館大学 R7-笑顔を咲かせようRits×MIYAKO応援プロジェクト-
- 8/14(火)～8/21(火) いわてGINGA-NET「夏GINGA2012」立命館便
- 8/17(金)～8/20(月)『スマイルエンジン山形』プロジェクト
- 8/23(木)～8/29(水) 岩手県宮古市への災害ボランティア(課外活動学生)派遣
- 9/4(火)～9/11(火) 後方支援スタッフ派遣 第11便『遠野便』
- 9/17(月)～9/24(月) 後方支援スタッフ派遣 第12便『宮古便』

### 「第2回ODENSE 野外ライブ&演芸大会」を 岩手県宮古市重茂地区の仮設集会所で実施

8月19日(日)、岩手県宮古市重茂地区にある仮設集会所において「第2回ODENSE 野外音楽ライブ&演芸大会 ～みんなで歌おう! 重茂の歌～」を開催しました。2012年1月9日(日・祝)に開催した、宗本晋作・理工学部准教授とそのゼミ生たちが重茂地区の方々とともに建設した簡易集会所の竣工式と完成披露の音楽ライブに続いて、2回目の開催となりました。今回の企画では、さらに宮古・重茂の方々や京都の結びつきを深めるために「歌でつながろう」と題し、重茂の方々から寄せられた、思い出の風景、モノ、言葉などをヒントにFM京都DJのしもぐち☆雅充氏が作詞・作曲した「重茂の歌」の完成披露などが行なわれました。当日は、学生たちによる子どもが楽しめるゲームなどの企画も実施され、多くの方々が参加し、学生たちと交流を深めていました。

### 東日本大震災復興支援に関わる2011年度活動報告書を発行

災害復興支援室では、東日本大震災発生以降から2011年度にかけて、立命館が学園として取り組んだ復興支援について、教職員、学生・生徒・児童、校友、父母等の取り組みと成果を学園内外に発信することを目的に報告書を作成しました。以下の災害復興支援室ホームページでダウンロードしていただけます。ぜひご覧ください。

★災害復興支援室ホームページ  
<http://www.ritsumeit.ac.jp/rs/20110311/>



### 茨木市および茨木商工会議所と 連携協力に関する協定を締結



8月9日(木)、立命館大学、茨木市および茨木商工会議所は、相互に連携協力を図ることにより地域社会の発展及び人材育成に貢献することを目的に、包括的な連携協力に関する協定を締結しました。今回の協定は、まちづくり、産業、観光、学術研究、教育、文化、国際交流、スポーツ等の振興を通じて、三者が相互に連携協力を図ることを目的としています。今後、2015年4月の立命館大学大阪茨木新キャンパス開設に向けて、茨木市および茨木商工会議所と、新キャンパスに移転する学部・研究科を中心に、大学の教育・研究を通じた連携・交流を一層深めていく予定です。

### 第6回立命館白川静記念東洋文字 文化賞表彰式を開催

7月7日(土)、衣笠キャンパスにて「第6回立命館白川静記念東洋文字文化賞(略称立命館白川静賞)」の表彰式を開催しました。本賞は、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が、故・白川静立命館大学名誉教授の功績を顕彰するとともに、東洋文字文化に関する研究、普及および教育活動等の奨励支援のため、個人または団体の業績を表彰す



表彰式の様子

ることを目的としています。今回は、教育普及賞1件、奨励賞1件、教育普及賞特別賞1件が選出されました。そのうち、障がいのある生徒への教育方法として甲骨文字・金文の絵画的性格を活用し、大きな成果を挙げている福井県立嶺北養護学校の取り組みが、教育機関としては初めて、教育普及賞特別賞を団体受賞しました(※)。

#### 【受賞者一覧】

##### ◆教育普及賞

北海道文教大学外国語学部 蘇 氷氏

対象業績：『常用字解』の中国語版出版

##### ◆奨励賞

宮崎大学教育文化学部 山元宣宏氏

対象業績：秦漢時代の書体の諸相に関する研究

##### ◆教育普及賞特別賞

福井県立嶺北養護学校(団体)

対象業績：福井県立嶺北養護学校における「書」作品制作

(※)福井県立嶺北養護学校の表彰式は、7月6日(金)に同校体育館で行なわれました。

### 自主的・主体的な取り組みを支援する 奨学金・助成金制度を新たに導入



採用決定通知が授与される様子

立命館大学では、2012年度より、学生からの意見や学生生活実態をもとに「経済支援」と「成長支援」の2つの側面から奨学金・助成金制度を大きく見直しました。「成長支援」では、従来型の成果や結果への支援だけでなく、学生たちがこれからの目標、目的にチャレンジするプロセスを支援するため、新たに5つの給付型奨学金・助成金制度を設けました。新制度の内、個人の自主的・主体的な取り組みを支援する「+R個人奨励奨学金」、多様な学びの集団形成を支援することを目的とした「学びのコミュニティ集団形成助成金」では、書類・面接選考を行ない、68名、20団体の採択が決定しました。

#### 【採用テーマ例】

##### ■+R個人奨励奨学金(支給対象：個人)

- 震災復興支援団体を創設。今後、被災地の支援ニーズの調査・分析を実施する。(政策・2回生)
- ラジオ番組・ドラマを自主的に制作。コミュニティFM等を通じ、ラジオの普及に貢献する。(文・4回生)
- 人間の脚筋力と跳躍力の伸長をテーマに学内外で学びを展開する。(スポーツ健康科学・3回生)

##### ■学びのコミュニティ集団形成助成金(支給対象：団体)

- 中高生対象のプログラミング教室を開催し、楽しさを伝える。(情報理工・団体)
- 日本で暮らす外国人児童の日本語学習支援と研究、啓蒙活動。(文・団体)
- 環境教育として小学生と一緒に清掃活動を行ない、美化意識を向上させて、地域コミュニティの形成、犯罪防止につなげる。(BKC学部混合)

### 夏のオープンキャンパス2012を開催

8月4日(土)、5日(日)、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)にて、立命館大学オープンキャンパス2012を開催しました。2日間で総数14,993名もの受験生、保護者らが立命館大学を訪れました。立命館大学の魅力を体感してもらうため、各学部がそれぞれの教育内容や正課・課外を通じた学生の成長をリアルに伝えようと、様々な企画を実施。学部紹介や入試説明会、模擬授業をはじめ、映像学部の「松竹スタジオ見学ツアー」、最新機器を使用してスポーツ動作などを計測できるスポーツ健康科学部の「自分の動きを見てみよう!」など、学部ごとに特徴のある企画に、多くの受験生・保護者が積極的に参加しました。



会場受付の様子(衣笠キャンパス)



個別相談ブースの様子(びわこ・くさつキャンパス)

### 国際ロボット競技大会「RoboCup 2012」 のレスキュー部門において、情報理工学部 プロジェクト団体「Ri-one」が世界一に輝く

6月18日(月)から24日(日)にかけて開催された「RoboCup 2012」のレスキュー部門において、情報理工学部プロジェクト団体の「Ri-one」が、8カ国18チームが参加した激戦を勝ち抜き、初優勝を果たしました。本大会は、ロボットと人工知能をテーマに、「2050年、人型ロボットでワールドカップ・チャンピオンに勝つ」という目標を設定し、その研究過程で生まれる科学技術を世界に還元することを目指している国際ロボット競技大会です。今回は、コンピュータ上で再現された震災の起こった指定のエリア(地域)で、エリア内で活動する消防隊、救急隊などの動きをプログラミング制御して、消火や人命救助のシミュレーションを行なう「レスキュー部門」での優勝となりました。



### スポーツ健康科学部 吉岡伸輔・助教が世界で初めて 「筋力余裕度計」の開発に成功

吉岡伸輔・スポーツ健康科学部助教は、日常生活に最低限必要な筋力に対して、どれほど筋力の余裕があるかを測定できる「筋力余裕度計」を開発しました。本研究では、椅子立ち上がり動作に必要な筋力を数値化し、筋力余裕度として世界で初めて示すことに成功しました。開発した「筋力余裕度計」の市販化により、各家庭で手軽に筋力を測定できるようになり、筋力状態に合わせた効果的なトレーニングにつなげることができます。病院でのリハビリや、スポーツ分野などでの応用も期待されます。



筋力余裕度を計測する吉岡助教



立命館大学で、エジプトの大学職員が大学運営について学ぶ～  
“オールジャパン”が支援するエジプト工学系大学の幹部研修を実施～

7月5日(木)から7月19日(木)にかけて、中東・アフリカ地域の“工学教育・研究活動の拠点”を目指して2010年に開校した「エジプト日本科学技術大学(略称E-JUST; Egypt-Japan University of Science and



Technology)」の幹部職員が、立命館大学において、2週間の研修を行ないました。立命館大学は、日本政府や国内11大学・産業界と連携し、「オールジャパン」体制で、E-JUSTの大学づくりに協力してきました。研修生たちは、日本の大学運営に関する戦略や実務について学び、E-JUSTの運営において導入するための行動計画を策定することを目的として、人事や財務・経理、教務など大学運営に必要なスキルを学びました。

国際平和ミュージアム  
第74回ミニ企画展示  
夏休み企画「紙芝居」を開催

7月21日(土)から8月26日(日)にかけて、国際平和ミュージアムにおいて、第74回ミ

ニ企画展示 夏休み企画「紙芝居」を開催しました。本展は、日中戦争が始まった1937年から1945年までの間、人々を戦争に協力させるための道具として使われていた“国策紙芝居”を含む当館収蔵資料約50点の展示を通して、国策紙芝居には何が描かれていたのか、どのように人々を戦争へ協力させていったのかを考えることを目的として企画されました。本展には、2012年度博物館実習生として参加した映像学部学生4名が制作した2種類の戦時中の紙芝居映像も展示されました。



会場の様子



インドネシアの子どもたちにとって  
よりよい環境を創りたい

大橋理佐さん(国際関係学部3年生)  
CheRits(立命館大学国際部国際協力学学生実行委員会)代表

インドネシアの現地協力者との連絡調整、会議などの組織運営、活動の計画作りなど、日々忙しく活動しているのが、CheRitsの代表を務める大橋理佐さんである。国際協力をしたいと考えていた大橋さんは、CheRitsが開催した写真展と説明会に参加したことがきっかけで、CheRitsの一員になることを決めた。1回生の8月にはインドネシアにて、活動の参考にするための現地調査を行なった。

スリランカやインドネシアなどに大きな被害をもたらした2004年のスマトラ沖地震と2006年のジャワ島中部地震。立命館学園は、被害を受けた地域の教育再建を目標としたスリランカとインドネシアにおける「学校再建プロジェクト」を実施。プロジェクトが完了した2007年3月以降、これを引き継ぐかたちでCheRitsの学生たちは、小学校が再建されたインドネシアのカラキジョ地区を私費で年2回訪問し、子どもたちが楽しんで防災を学ぶことができる「防災教育」を中心として、学生の立場で現地の教育や地域の活性化に貢献する活動を続けてきた。

大橋さんは、自分たちが考える企画が住民にとって本当に必要なのか、活動しながら、常に葛藤を感じてきた。なぜなら、「防災」という考え方がない土地で、住民に「防災教育」の必要性を理解してもらうことは難しかったからだ。そこで、通訳などで協力してくれているイン



ドネシアのガジャマダ大学の学生と、現地でだけではなく、インターネットを通じて、何度も現地の文化や考え方を聞いた。また、住民たちとワークショップを通じて考え方や意識を探り、避難訓練での避難方法

の見直しや、住民の意見を集約したハザードマップの作成など、現地に合った「防災教育」を現地の人たちとともに創り上げてきた。大橋さんは、「たくさんの人の支えを感じながら活動していることで、周りのことを考えて、今の自分に何ができるのかという視点で動くことができるようになりました」と活動を通して、自分自身の成長を実感している。さらに、「住民自身が防災教育の重要性を理解して、自ら動いてもらえるようになることが活動の目標です」と、今後の目標を高く設定している。

CheRitsでは、2012年の春から、地域全体で子どもを見守り、育てていくという「地域教育」という考え方を地域に根付かせる活動に取り組み始めた。「地域教育」を通じて、青年団、婦人会など学校以外の団体につながりを作り、地域全体で子どもたちを育てる環境を作り出すことが狙いだ。2013年春には博物館や染物工場などの見学を企画している。

大橋さんは、活動を続ける中で、「本当に必要とされる国際協力とは何か?」という問いを、代表となった今でも自分に投げかけ続けている。「まだ結論は出ていませんが、在学中に自分なりの答えを見つけないと思っています」と語ってくれた。これからのCheRitsを注目すれば、大橋さんが考える「本当に必要な国際協力」の答えが見られるかもしれない。



避難訓練で机の下に隠れる子どもたち



住民たちとの話し合いの様子

立命館大阪キャンパス 公開講座のご案内

大阪・京都文化講座(後期)  
「人・文化・産業 関西とアジアの往来史」

大阪大学21世紀懐徳堂・立命館大学文学部・立命館大阪オフィス 共催

|   | 開催日      | 講師名                          | 講演タイトル                             |
|---|----------|------------------------------|------------------------------------|
| 1 | 10/9(火)  | 立命館大学 文学部 教授<br>山崎 有恒        | 伊東忠太と大谷光瑞<br>ー近代京都のデザインとアジア        |
| 2 | 10/16(火) | 大阪大学 大学院 経済学研究科 教授<br>阿部 武司  | 「東洋のマンチェスター」の形成と展開<br>ー綿工業都市 大阪の発展 |
| 3 | 10/23(火) | 立命館大学 文学部 准教授<br>三枝 暁子       | 豊田政権下の京都<br>ー禁教・地震・朝鮮出兵をめぐる        |
| 4 | 10/30(火) | 兵庫県立大学 経済学部 教授<br>陳 來幸       | 東アジアのなかの神戸・大阪華僑                    |
| 5 | 11/6(火)  | 立命館大学 文学部 教授<br>田中 聡         | 渡来人・夷狄が往来した古代の京都                   |
| 6 | 11/13(火) | 大阪大学 名誉教授 近畿大学 特任教授<br>森安 孝夫 | シルクロードとマニ教<br>ー日本発見マニ教絵画の歴史的背景     |
| 7 | 11/27(火) | 立命館大学 文学部 准教授<br>庵道 由香       | 現代韓国の中の日本文化                        |
| 8 | 12/4(火)  | 大阪大学 大学院 文学研究科 教授<br>杉原 達    | 近現代大阪の中のアジア<br>ー朝鮮半島からの人の移動を中心に    |

- 会 場 立命館大阪キャンパス
- 時 間 14:00～15:40(講演90分と質疑応答10分)
- 定 員 各回98名(定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください)
- 受講料 1回2,000円(全8回一括申し込みの場合、14,000円)

2012年度大阪オフィス講座

“もっと知りたい、学びたい” 知的好奇心こそが豊かな精神生活を支える源です。みなさまの興味関心に応じて、本年も様々な分野の研究者・専門家が解かりやすい講義を行ないます。(全21回)

- 会 場 立命館大阪キャンパス
- 開講期間 2012年9月12日(水)～2013年2月27日(水)
- 時 間 14:00～15:40(講演90分と質疑応答10分)
- 定 員 各回98名(定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください)
- 受 講 料 1回1,000円(18回以上一括申込の場合、18,000円)

※講座スケジュール・講演内容等詳細は、立命館大阪キャンパスホームページでご確認ください。

お問い合わせ先 立命館大阪オフィス TEL:06-6360-4895

立命館東京キャンパス 公開講座のご案内

医療経営講座「実務講座・訓練講座」

|  | 開催日     | 講師名                                    | 講演タイトル                  |
|--|---------|----------------------------------------|-------------------------|
|  | 10/6(土) | 立命館大学客員教授<br>医療経営研究センター副センター長<br>齋藤 清一 | リーダーシップ、コミュニケーション訓練講座   |
|  | 1/26(土) |                                        | 職場のメンタルヘルス問題と事前対策講座     |
|  | 2/23(土) |                                        | リスクマネジメントの徹底検証とそのすすめ方講座 |

- 会 場 立命館東京キャンパス
- 定 員 18名
- 時 間 10:00～16:00
- 受講料 1回25,000円

2012年立命館国際公務員セミナー

|  | 開催日            | 講師名                      | 講演タイトル        |
|--|----------------|--------------------------|---------------|
|  | 1/11(金)～2/8(金) | 立命館大学 国際関係学部 教授<br>石原 直紀 | キャリアとしての国際公務員 |

- 会 場 立命館東京キャンパス
- 受講料 立命館校友:15,000円 一般:20,000円
- 時 間 19:00～21:00
- 定 員 30名

※日程および受講料は予定であり、変更になる場合があります。

お問い合わせ先 立命館東京キャンパス TEL:03-5224-8188



| 校友会・グループ インフォメーション |                 |                  |                                    |
|--------------------|-----------------|------------------|------------------------------------|
| 校友会・グループ           | 日 時             | 会 場              | 問い合わせ先                             |
| 立命土木40会            | 10/11 (木) 18:00 | 平安会館             |                                    |
| 哲学同窓会総会            | 10/13 (土) 16:00 | 衣笠キャンパス至徳館304会議室 | 志磨 慶子 (職) 075(813)8464             |
| 建設会岐阜県支部総会         | 10/26 (金) 18:00 | ホテルリソル岐阜         | 野崎 勝己 (職) 058(251)6105             |
| ワンダーフォーゲルOB会総会     | 10/27 (土) 13:00 | 衣笠キャンパス          | 広瀬 孝慈 090 (3032) 8323              |
| 建設会総会              | 10/27 (土) 14:00 | 京都タワーホテル         | 理工学部環境都市系事務室内 077(561)4911         |
| 高槻・島本校友会総会         | 10/27 (土) 17:30 | たかつき京都ホテル        | 渡邊 昇 072(673)1634                  |
| 山口県校友会総会           | 11/2 (金) 18:30  | ホテル松政            | 中村 史朗 090(7971)4141                |
| 島根県校友会総会           | 11/3 (土) 13:30  | サンラボーむらくも        | 田中 安信 0852(27)2903                 |
| 福岡県校友会総会           | 11/3 (土) 15:30  | ソラリア西鉄ホテル        | 大成印刷(株)内福岡県校友会事務局 (職) 092(472)2621 |
| 鳥取県東部校友会総会         | 11月 (詳細未定)      |                  | 西垣 佳則 (職) 0857(30)0555             |
| 北摂校友会総会            | 11/9 (金) 18:30  | ホテルアイボリー         | 湯川 正之 (職) 06(6844)2001             |
| 兵庫県校友会総会           | 11/10 (土) 11:00 | 生田神社会館           | 辻 寛 (FAX) 078(753)1955             |
| 鹿児島県校友会総会          | 11/10 (土) 15:00 | ブラザN             | 川窪 宏一 (職) 099(253)3336             |
| 宇部小野田校友会総会         | 11/10 (土) 18:00 | ホテル河長            | 森島 正信 (職) 0836(29)4725             |
| 京都校友会総会            | 11/11 (日) 11:00 | 衣笠キャンパス 末川記念会館   | 京都校友会事務局 075(813)8216              |
| 広告研究会創部50周年OB会     | 11/17 (土) 16:00 | リーガロイヤルホテル京都     | 空 早苗 078(841)8602                  |
| 石川県校友会総会           | 11/17 (土) 17:00 | 金沢ニューグランドホテル     | 木場 密雄 076(243)5806                 |
| 愛知県校友会総会           | 11/17 (土) 17:00 | 名鉄グランドホテル        | 加藤 智大 (職FAX) 052(937)1250          |
| 鳥取県西部校友会総会         | 11/17 (土) 18:00 | 米子全日空ホテル         | 大野木昭夫 (職) 0859(32)3308             |
| 大分県校友会総会           | 11/17 (土)       |                  | 佐藤 昌彦 097(521)5392                 |
| 広島県西部地区校友会総会       | 11/24 (土) 17:00 | 宮島コーラルホテル        | 平岡 滋 080(2902)7126                 |
| 佐賀県校友会総会           | 11/24 (土) 18:00 | ホテルニューオータニ佐賀     | 伊香賀俊介 0952(53)4243                 |
| 広島県東部校友会総会         | 11/25 (日) 12:00 | 福山ニューキャッスルホテル    | 島田 斉 (職) 084(922)6361              |
| 東京校友会総会            | 12/8 (土) 13:00  | アンフェリシオン         | 立命館東京キャンパス 03(5224)8188            |

| 校友消息 (判明分)                              |                                    |                                |
|-----------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| <b>就 任 (内定含む)</b>                       | 松本 等氏 (‘76産社)                      | 山中 諄氏 (‘65経済)                  |
| 茂呂 治氏 (‘75法)                            | 生活協同組合コープえひめ理事長<br>6月21日就任         | 西日本高速道路(株)<br>取締役会長<br>6月28日就任 |
| 吉村直樹氏 (‘77経済)                           | 加藤 誠氏 (‘71産社)                      |                                |
| NECロジスティクス(株)<br>代表取締役執行役員社長<br>6月18日就任 | 静清信用金庫理事長<br>6月22日就任               |                                |
| 岡本 守氏 (‘76経営)                           | 浦上勝治氏 (‘70理工)                      |                                |
| 北星信用金庫理事長<br>6月20日就任                    | 旭コンクリート工業(株)<br>代表取締役社長<br>6月28日就任 |                                |

| BOOKS                                                               |                                                             |                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 校友会へご惠贈くださいました本の中から紹介させていただいております。                                  |                                                             |                                                                  |
| ◆稲垣正司氏 (‘00産社) 著<br>『魔法のバトン バトントワ<br>ラー稲垣正司は冒険する。』<br>芸術生活社＊1143円＋税 | ◆品川文男氏 (‘43専法政) 著<br>『京都写真館 市電の走る風景』<br>淡交社＊1600円＋税         | ◆宮本道子氏 (‘01文) 著<br>『追憶のパルティータ』<br>鳥影社＊1400円＋税                    |
| ◆近藤かすみ氏 (‘76理工) 著<br>『雲ヶ畑まで』<br>六花書林＊2300円＋税                        | ◆下田幸男氏 (‘10院経営管) 著<br>『今日に生き未来に活かす 石門心学』<br>(株)新風書房＊1500円＋税 | ◆山崎雄司氏 (‘87理工) 著<br>『技術士第二次試験「合格<br>ルート」ナビゲーション』<br>日刊工業＊1800円＋税 |
| ◆佐野泰臣氏 (‘65文) 著<br>『漢文逍遥―長安への道―』<br>漢文研究会「泰山会」＊1000円＋税              | ◆藤田友治氏 (‘73院文) 編著<br>『ゼロからの古代史事典』<br>ミネルヴァ書房＊3800円＋税        | ◆山田 航氏 (‘06法) 著<br>『世界中が夕焼け』<br>新潮社＊1600円＋税                      |

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

| 特別展                                                                                  |                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 世界報道写真展2012<br>—WORLD PRESS PHOTO 2012—                                              |  |
| 世界報道写真財団が毎年開催<br>するコンテストの入賞作品で<br>構成した写真展。いま一度、<br>平和とは何かを考えるきっかけ<br>として、どうぞご観覧ください。 | サムエル・アラнда(スペイン)<br>ニューヨークタイムズ紙向け                                                   |

| 開設20周年記念                                                                  |                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 未完の作品/永遠のはじまり<br>—「無言館」収蔵作品から芸術の原点を考える                                    |  |
| 「無言館」収蔵作品のなかから、<br>戦没画学生が遺した作品や愛用した品々、言葉を<br>展示。画学生が追求めた<br>「芸術」の原点を考えます。 | 桑田一彦「アネモネ」<br>(無言館蔵)                                                                 |

| 会 期                                                                         | 開 館 時 間                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別展<br>「世界報道写真展2012 —WORLD PRESS PHOTO 2012—」<br>開催中～ 10月14日(日)             | 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)                                                                                                                                             |
| 開設<br>20周年記念<br>「未完の作品/永遠のはじまり —「無言館」収蔵作品から芸術の原点を考える」<br>10月23日(火)～12月1日(土) | 休 館 日<br>月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日                                                                                                                                         |
| 第75回<br>ミニ企画展示<br>「戦争と医の倫理～日本の医学者・医師の「15年戦争」への加担と責任」<br>開催中～ 10月8日(月・祝)     | 観 覧 料<br>一般400円(350円)／中・高生300円(250円)／小学生200円(150円)<br>( )は20名以上の団体料金<br>※特別展「世界報道写真展2012」期間中は、大人の一般観覧料が500円(団体料金適用はありません)となります。<br>常設展示(地階・2階)は、左記展示期間以外でも見学することができます。 |
| 第76回<br>ミニ企画展示<br>「第6回立命館附属校 ―平和教育実践展示―」<br>10/14(日)～12/21(金) ※詳細は上記        |                                                                                                                                                                        |

我が母校の良きライバルである同志社大学は、今出川校地の北側、烏丸通りに沿って現在盛んに増築中である。同志社が今出川校地の狭隘化に伴い、京田辺校地へ順次移転を開始してからかれこれ四半世紀になるが、今出川校地の北側の公有地払い下げというチャンスにも恵まれ、今まさに京都市内への回帰が風雲急を告げている。また京都学園大(亀岡市)は、この8月に右京区の山ノ内浄水場跡地への進出が決定した。やはり京都は“学生の街”であり“学問の都”ということか。その京都に本部を置く我が立命館は、衣笠校地の狭隘化解消のため茨木市に校地を求め、移転学部等も決定した。これで京都、草津、茨木の3拠点となるが、是非、この展開が教育・研究の質の向上と学生生活の充実に資するものであってほしい。(YT)

情報の切り取られ方が重視されるようになってきた。先日大きく報道された「東京でパンダの赤ちゃんが生まれた」というニュースでは、その力点は「東京で」という所にあったのだろう。パンダの赤ちゃんは和歌山県のテーマパークでは珍しくなく、新聞で小さく取り上げられる程度だからだ。台風など災害のテレビ報道も、東京に関係するかが最重要視されている。東日本大震災から二度目の夏を迎えた。関西在住の私は電力問題について考える機会が多く、冷房を控えて過ごしてきた。しかし「電力問題」というのも切り取られた視点なのかもしれない。関西の電力うんぬんと関係なく、現地は苦しい現状が続いている。多角的視点を持つことが可能な時代だからこそ、情報の切り取り方に気をつけたい。(人見勅輔)

いじめ問題がクローズアップされている。津市立中学の2年生が自殺した問題に端を発し、全国各地のいじめ事件が報道されている。そのような中、全国教育委員会などでいじめ問題への対応を見直す動きが急速に広がっている。いじめ事件では様々な問題が指摘された。いじめの兆候を見逃した学校の甘い対応。ずさんな自殺後の調査。隠蔽体質の学校。初動の鈍い警察。責任逃れにしか見えない教育長の姿勢。自覚の足りない教育委員。果ては、教育委員会制度のあり方…。国政レベルのドタバタ劇にも通ずる問題の根の深さ…。しかし、失望ばかりしてはいられない。「命」の重さに思いをいたし、「責任」の意味を噛みしめ、誠実な一歩を踏み出さなければならない。(あ)

今年の夏、会社の先輩が転職した。財務関係の転職を数回経験してきた先輩が選んだのは、運輸会社のオペレーター。語学力を活かし、海外事業者の取次を行なうのだという。これまでと全く異なる分野に転職することや、外大を卒業してからのブランクに不安はある、と言いながらも、先輩の表情はいきいきしていた。自分の行きたい道を選んだ先輩の姿を見て、ふと、大学時代に聞いた言葉を思い出した。『自分の限界を自分で決めるのは愚か』。大学の大先輩である、元東京ヤクルトスワローズの古田敦也さんの言葉だ。何事もやってみなければわからない。「失敗して後悔するかもしれないからやめておこう」と、無意識に新しいことを避けている自分に、再び喝を入れてくれたような気がした。(pow)

経営学部創設50周年記念・経営学部校友会設立10周年記念関連企画

立命館大学 経営学部

経営学部創設50周年記念式典・祝賀会開催のご案内

経営学部は、1962年に広小路キャンパスにおいて創設され、今年で50周年を迎えました。そこで、今年度は、50年の長きにわたり多くの校友と教職員によって積み重ねられてきた営為に感謝し、2015年に計画されている大阪茨木新キャンパス(仮称)での新たな教学展開の方向性を校友の皆様と共有することを目的として、経営学部50周年記念式典ならびに祝賀会を開催いたします。同期生の方々とお誘い合わせの上、是非、ご参加ください。

経営学部創設50周年記念式典・祝賀会

日 時：2012年11月17日(土)  
◆記念式典・講演 15:00～16:30  
記念講演：佐藤 茂雄 氏(大阪商工会議所会頭、京阪電気鉄道株取締役相談役)  
タイトル：「千客万来都市OSAKA」  
◆祝賀会 17:00～19:30  
会 場：ハイアット リージェンシー京都(京都市東山区)  
参 加 料：3,000円 ※当日受付にてお支払いください。  
参加申し込み：(参加申込 締切日：2012年10月31日)  
下記お問い合わせ先までご連絡ください。以下のURLからもお申し込み頂けます。  
※会場の都合上、記念式典ならびに祝賀会には定員がございます。お申し込み順とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。  
URL：http://rits-ba50.com/

経営学部50周年記念に 立命館大学 経営学部事務局 担当：濱崎・真田  
関するお問合せ先>>> TEL：077-561-3941 FAX：077-561-3957

立命館大学国際平和ミュージアム  
特別展・常設展  
世界報道写真展2012  
10月14日(日)まで  
(校玉1名購入無料)  
校玉金額リターンあり  
No.250